

## 基本計画書

基本計画								
事項	記入欄						備考	
計画の区分	研究科の専攻の設置							
フリガナ設置者	コクリツダイガクホウジントウカイコクリツダイガクキコウ 国立大学法人東海国立大学機構							
フリガナ大学の名称	ギフダイガクダイガクイン 岐阜大学大学院 (The Graduate school of Gifu University)							
大学本部の位置	岐阜県岐阜市柳戸1番1							
大学の目的	<p>独創的かつ先進的研究の拠点として、知の創造と統合に努めるとともに、高度な教育を通してそれを継承発展させ、豊かな人間性と学識を養い、判断力と実行力及び構想力に富む人材の育成を行い、もって地域社会と人類の発展に貢献することを目的とする。</p>							
新設学部等の目的	<p>岐阜県内唯一の教職大学院及び地域創世の中核拠点として、以下の高度専門職業人を養成することを目指し、教育学研究科の改組を行う。</p> <p>1) 幅広い領域でより深い実践的指導力を身につけた学校教員 2) 学校現場で即戦力となるスクールカウンセラー</p>							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地
	教育学研究科 (Graduate School of Education) 教育臨床心理学専攻 (The Course of Clinical Psychology for Education) 計	年	人	年次人	人	修士(教育学) (Master of Education)	令和4年4月 第1年次	岐阜県岐阜市柳戸1番1
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	<p>(岐阜大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部   医学科〔定員減〕 (△25) (令和4年4月) ※</li> <li>・教育学研究科   教職実践開発専攻 (P) (廃止) (△25)     ※令和4年4月学生募集停止</li> <li>  心理発達支援専攻 (M) (廃止) (△10)     ※令和4年4月学生募集停止</li> <li>  総合教科教育専攻 (M) (廃止) (△34)     ※令和4年4月学生募集停止</li> <li>  教職実践開発専攻 (P) (40) (令和3年4月事前相談)</li> </ul> <p>(名古屋大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・理学研究科   理学専攻 (M) (188) (令和3年4月事前相談)</li> <li>  理学専攻 (D) (70) (令和3年4月事前相談)</li> <li>  素粒子宇宙物理学専攻 (M) (廃止) (△66)</li> <li>  素粒子宇宙物理学専攻 (D) (廃止) (△30)     ※令和4年4月学生募集停止</li> <li>  物質理学専攻 (M) (廃止) (△63)</li> <li>  物質理学専攻 (D) (廃止) (△22)     ※令和4年4月学生募集停止</li> <li>  生命理学専攻 (M) (廃止) (△42)</li> <li>  生命理学専攻 (D) (廃止) (△18)     ※令和4年4月学生募集停止</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学部   医学科〔定員減〕 (△7) (令和4年4月) ※     (2年次編入学定員) (4) (令和3年概算要求予定)</li> <li>    (3年次編入学定員) (△5)     ※3年次編入学定員は令和4年4月学生募集停止</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工学研究科   名古屋大学・チュラロンコン大学国際連携サステナブル材料工学専攻 (D) (3) (令和3年8月意見伺い予定)</li> <li>  材料デザイン工学専攻 (D) (△1)</li> <li>  物質プロセス工学専攻 (D) (△1)</li> <li>  化学システム工学専攻 (D) (△1)</li> </ul>						※臨時定員増の延長がない場合	
							※臨時定員増の延長がない場合	

教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数			
		講義	演習	実験・実習	計				
	教育臨床心理学専攻 (M)	23 科目	8 科目	7 科目	38 科目	40 単位			
教	学部等の名称	専任教員等						兼任 教員等	任 教員等
		教授	准教授	講師	助教	計	助手		
新	教育学研究科 教育臨床心理学専攻 (M)	3 人	3 人	0 人	0 人	6 人	0 人	7 人	
		(3)	(3)	(0)	(0)	(6)	(0)	(7)	
設	教育学研究科 教職実践開発専攻 (P)	25 人	23 人	0 人	2 人	50 人	0 人	35 人	
		(25)	(23)	(0)	(2)	(50)	(0)	(35)	
分	計	28 人	26 人	0 人	2 人	56 人	0 人	- 人	
		(28)	(26)	(0)	(2)	(56)	(0)	(-)	
既	地域科学研究科 地域政策専攻 (M)	6 人	10 人	0 人	1 人	17 人	0 人	0 人	
		(6)	(10)	(0)	(0)	(16)	(0)	(0)	
組	地域科学研究科 地域文化専攻 (M)	10 人	3 人	1 人	1 人	15 人	0 人	0 人	
		(10)	(3)	(1)	(1)	(15)	(0)	(0)	
織	医学系研究科 医科学専攻 (4年制D)	34 人	29 人	6 人	33 人	102 人	0 人	118 人	
		(34)	(29)	(6)	(33)	(102)	(0)	(118)	
の	医学系研究科 看護学専攻 (M)	7 人	11 人	0 人	11 人	29 人	1 人	13 人	
		(7)	(11)	(0)	(11)	(29)	(1)	(13)	
設	医学系研究科 医療者教育学専攻 (M)	6 人	3 人	0 人	9 人	18 人	0 人	30 人	
		(6)	(3)	(0)	(9)	(18)	(0)	(30)	
概	工学研究科 工学専攻 (D)	73 人	56 人	0 人	0 人	129 人	0 人	0 人	
		(73)	(56)	(0)	(0)	(129)	(0)	(0)	
要	工学研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携統合機械工学専攻 (D)	10 人	2 人	0 人	0 人	12 人	0 人	2 人	
		(10)	(2)	(0)	(0)	(12)	(0)	(2)	
分	工学研究科 岐阜大学・マレーシア国民大学 国際連携材料科学工学専攻 (D)	11 人	3 人	0 人	0 人	14 人	0 人	2 人	
		(11)	(3)	(0)	(0)	(14)	(0)	(2)	
の	自然科学技術研究科 生命科学・化学専攻 (M)	27 人	18 人	0 人	12 人	57 人	0 人	64 人	
		(27)	(18)	(0)	(12)	(57)	(0)	(64)	
設	自然科学技術研究科 生物生産環境科学専攻 (M)	21 人	23 人	0 人	9 人	53 人	0 人	60 人	
		(21)	(23)	(0)	(9)	(53)	(0)	(60)	
概	自然科学技術研究科 環境社会基盤工学専攻 (M)	15 人	8 人	0 人	2 人	25 人	0 人	30 人	
		(15)	(8)	(0)	(2)	(25)	(0)	(30)	
要	自然科学技術研究科 物質・ものづくり工学専攻 (M)	17 人	12 人	0 人	12 人	41 人	0 人	45 人	
		(17)	(12)	(0)	(12)	(41)	(0)	(45)	
分	自然科学技術研究科 知能理工学専攻 (M)	19 人	23 人	0 人	10 人	52 人	0 人	61 人	
		(19)	(23)	(0)	(10)	(52)	(0)	(61)	
の	自然科学技術研究科 エネルギー工学専攻 (M)	18 人	16 人	0 人	12 人	46 人	0 人	44 人	
		(18)	(16)	(0)	(12)	(46)	(0)	(44)	
設	自然科学技術研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携食品科学技術専攻 (M)	14 人	4 人	0 人	0 人	18 人	0 人	0 人	
		(14)	(4)	(0)	(0)	(18)	(0)	(0)	
概	共同獣医学研究科 共同獣医学専攻 (4年制D)	15 人	9 人	0 人	0 人	24 人	0 人	0 人	
		(15)	(9)	(0)	(0)	(24)	(0)	(0)	
要	連合農学研究科 生物生産科学専攻 (D)	20 人	15 人	0 人	5 人	40 人	0 人	16 人	
		(20)	(15)	(0)	(5)	(40)	(0)	(16)	
分	連合農学研究科 生物環境科学専攻 (D)	17 人	21 人	0 人	6 人	44 人	0 人	16 人	
		(17)	(21)	(0)	(6)	(44)	(0)	(16)	
の	連合農学研究科 生物資源科学専攻 (D)	31 人	20 人	0 人	9 人	60 人	0 人	16 人	
		(31)	(20)	(0)	(9)	(60)	(0)	(16)	
設	連合農学研究科 岐阜大学・インド工科大学グワハティ校 国際連携食品科学技術専攻 (D)	17 人	5 人	0 人	0 人	22 人	0 人	5 人	
		(17)	(5)	(0)	(0)	(22)	(0)	(5)	
要	連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻 (D)	9 人	4 人	0 人	2 人	15 人	0 人	26 人	
		(9)	(4)	(0)	(2)	(15)	(0)	(26)	
分	連合創薬医療情報研究科 医療情報学専攻 (D)	7 人	4 人	0 人	2 人	13 人	0 人	26 人	
		(7)	(4)	(0)	(2)	(13)	(0)	(26)	
の	計	189 人	162 人	7 人	103 人	461 人	1 人	- 人	
		(189)	(162)	(7)	(102)	(460)	(1)	(-)	
概	合 計	217 人	188 人	7 人	105 人	517 人	1 人	- 人	
		(217)	(188)	(7)	(104)	(516)	(1)	(-)	
教員以外の職員	職 種		専 任		兼 任		計		
	事 務 職 員	332人 (332)		357人 (357)		689人 (689)			
	技 術 職 員	1,132 (1,132)		259 (259)		1,391 (1,391)			
	図 書 館 専 門 職 員	7 (7)		0 (0)		7 (7)			

令和3年4月事前相談

への概要	その他の職員		0 (0)	77 (77)	77 (77)					
	計		1,471 (1,471)	693 (693)	2,164 (2,164)					
校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計					
	校舎敷地	241,445㎡	0㎡	0㎡	241,445㎡					
	運動場用地	90,589㎡	0㎡	0㎡	90,589㎡					
	小計	332,034㎡	0㎡	0㎡	332,034㎡					
	その他	6,865,689㎡	11,711㎡	0㎡	6,877,400㎡					
	合計	7,197,723㎡	11,711㎡	0㎡	7,209,434㎡					
校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計					
		196,992㎡ (196,992㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	196,992㎡ (196,992㎡)					
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体				
	97室	67室	575室	8室 (補助職員0人)	3室 (補助職員0人)					
専任教員研究室		新設学部等の名称		室数						
		教職実践開発専攻 (P)		50 室						
図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	学部等単位での特定不能なため、 大学全体の数		
	教職実践開発専攻	914,427 [304,183] (914,427 [304,183])	16,923 [5,682] (16,923 [5,682])	6,988 [5,567] (6,988 [5,567])	3,181 (3,181)	11,204 (11,204)	2,230 (2,230)			
	計	914,427 [304,183] (914,427 [304,183])	16,923 [5,682] (16,923 [5,682])	6,988 [5,567] (6,988 [5,567])	3,181 (3,181)	11,204 (11,204)	2,230 (2,230)			
図書館		面積		閲覧席数	収納可能冊数		大学全体			
		9,157㎡		699	959,584					
体育館		面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
		4,616㎡		弓道場、プール、陸上競技場、野球場、ラグビー場、サッカーコート、バスケットボールコート(3面)、ハンドボールコート(2面)、バレーボールコート(4面)、テニスコート(13面)						
経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	国費による
		教員1人当り研究費等		-	-	-	-	-	-	
		共同研究費等		-	-	-	-	-	-	
		図書購入費		-	-	-	-	-	-	
	設備購入費		-	-	-	-	-	-		
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			該当なし							
既設大学等の状況	大学の名称	岐阜大学								
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学員 年次人	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	教育学部	年	人	人	人		倍			
	学校教育教員養成課程	4	220	-	930	学士(教育学)	1.04	平成10年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	令和2年度入学定員増(20) 令和3年度入学定員減(△30)
	特別支援学校教員養成課程	4	-	-	-	学士(教育学)	-	平成19年度	同上	令和2年度より学生募集停止
地域科学部						1.02				
地域政策学科	4	50	3年次5	210	学士(地域科学)	1.02	平成18年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1		
地域文化学科	4	50	3年次5	210	学士(地域科学)	1.02	平成18年度	同上		

看護学科	4	80	-	320	学士（看護学）	1.00	平成12年度	同上	
工学部						1.01			
社会基盤工学科	4	68	3年次 10	260	学士（工学）	1.03	平成14年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	令和3年度入学定員増(8) 令和3年度3年次編入学定員増(10)
機械工学科	4	134	3年次 10	540	学士（工学）	1.01	平成25年度	同上	令和3年度入学定員増(4) 令和3年度3年次編入学定員増(10)
化学・生命工学科	4	154	3年次 2	604	学士（工学）	1.00	平成25年度	同上	令和3年度入学定員増(4) 令和3年度3年次編入学定員増(2)
電気電子・情報工学科	4	174	3年次 8	696	学士（工学）	1.00	平成25年度	同上	令和3年度入学定員増(4) 令和3年度3年次編入学定員増(8)
(各学科共通)	-	-	3年次 0	30	学士（工学）	-			令和3年度3年次編入学定員減(△30)
応用生物科学部						1.04			
応用生命科学課程	4	85	3年次 5	330	学士（応用生物科学）	1.00	平成23年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	令和3年度入学定員増(5)
生産環境科学課程	4	85	3年次 5	330	学士（応用生物科学）	1.06	平成16年度	同上	令和3年度入学定員増(5)
共同獣医学科	6	30	-	180	学士（獣医学）	1.07	平成25年度	同上	
獣医学課程	6	-	-	-	学士（獣医学）	-	平成16年度	同上	平成25年度より学生募集停止
社会システム経営学環	4	【30】	-	【30】	学士（経営学）	1.07	令和3年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	学部等連係課程による設置のため、定員は工学部及び応用生物科学部のものを利用。 【工学部】 社会基盤工学科(8) 機械工学科(4) 化学・生命工学科(4) 電気電子・情報工学科(4) 【応用生物科学部】 応用生命科学課程(5) 生産環境科学課程(5)
教育学研究科									
教職実践開発専攻 (専門職学位課程)	2	25	-	50	教職修士（専門職）	0.92	平成20年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
心理発達支援専攻 (修士課程)	2	10	-	20	修士（教育学）	1.20	平成20年度	同上	
総合教科教育専攻 (修士課程)	2	34	-	68	修士（教育学）	1.24	平成25年度	同上	
地域科学研究科									
地域政策専攻 (修士課程)	2	12	-	24	修士（地域科学）	0.25	平成13年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
地域文化専攻 (修士課程)	2	8	-	16	修士（地域科学）	1.75	平成13年度	同上	

医学系研究科										
医科学専攻										
(博士課程)	4	47	-	188	博士 (医学)	0.62	平成14年度	同上		
再生医科学専攻										
(博士課程)	3	-	-	-	博士 (再生医学)	-	平成14年度	同上	平成31年度より学生募集停止	
看護学専攻										
(修士課程)	2	8	-	16	修士 (看護学)	1.00	平成17年度	同上		
医療者教育学専攻										
(修士課程)	2	6	-	12	修士 (医療者教育学)	1.00	令和2年度	同上		
工学研究科										
社会基盤工学専攻										
(修士課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成18年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	平成29年度より学生募集停止	
数値デザイン工学専攻										
(修士課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成29年度より学生募集停止	
環境エネルギーシステム専攻										
(修士課程)	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成18年度	同上	平成29年度より学生募集停止	
生産開発システム工学専攻										
(博士課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	平成3年度	同上	平成31年度より学生募集停止	
物質工学専攻										
(博士課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	平成3年度	同上	平成31年度より学生募集停止	
電子情報システム工学専攻										
(博士課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	平成3年度	同上	平成31年度より学生募集停止	
環境エネルギーシステム専攻										
(博士課程)	3	-	-	-	博士 (工学)	-	平成11年度	同上	平成31年度より学生募集停止	
工学専攻										
(博士課程)	3	23	-	69	博士 (工学)	0.91	平成31年度	同上		
岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携統合機械工学専攻										
(博士課程)	3	2	-	6	博士 (学術)	1.50	平成31年度	同上		
岐阜大学・マレーシア国民大学国際連携材料科学工学専攻										
(博士課程)	3	2	-	6	博士 (学術)	1.00	平成31年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1		
自然科学技術研究科										
生命科学・化学専攻										
(修士課程)	2	74	-	148	修士 (工学または応用生物科学)	1.45	平成29年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1		
生物生産環境科学専攻										
(修士課程)	2	42	-	84	修士 (応用生物科学)	1.10	平成29年度	同上		

環境社会基盤工学専攻 (修士課程)	2	29	-	58	修士 (工学)	1.14	平成29年度	同上	
物質・ものづくり工学専攻 (修士課程)	2	67	-	134	修士 (工学)	1.18	平成29年度	同上	
知能理工学専攻 (修士課程)	2	81	-	162	修士 (工学)	1.12	平成29年度	同上	
エネルギー工学専攻 (修士課程)	2	72	-	144	修士 (工学)	1.28	平成29年度	同上	
岐阜大学・インド工科大学グロハティ校国際連携食品科学技術専攻 (修士課程)	2	10	-	20	修士 (食品科学技術)	0.30	平成31年度	同上	
共同獣医学研究科 共同獣医学専攻 (博士課程)	4	6	-	18	博士 (獣医学)	1.16	平成31年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
連合農学研究科 生物生産科学専攻 (博士課程)	3	7	-	21	博士 (農学)	0.71	平成3年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
生物環境科学専攻 (博士課程)	3	5	-	15	博士 (農学)	0.60	平成3年度	同上	
生物資源科学専攻 (博士課程)	3	6	-	18	博士 (農学)	1.88	平成3年度	同上	
岐阜大学・インド工科大学グロハティ校国際連携食品科学技術専攻 (博士課程)	3	2	-	6	博士 (学術)	0.50	平成31年度	同上	
連合獣医学研究科 獣医学専攻 (博士課程)	4	-	-	-	博士 (獣医学)	-	平成2年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	平成31年度より学生募集停止
連合創薬医療情報研究科 創薬科学専攻 (博士課程)	3	3	-	9	博士 (工学または薬科学)	0.00	平成19年度	岐阜県岐阜市柳戸1番1	
医療情報学専攻 (博士課程)	3	3	-	9	博士 (医科学または薬科学)	0.67	平成19年度	同上	

大 学 の 名 称		名古屋大学						
学 部 等 の 名 称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
文学部	4	125	3年次10	520	学士（文学）	1.00	昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1
人文学科	4	125	3年次10	520	学士（文学）	1.00	平成8年度	同上
教育学部	4	65	3年次10	280	学士（教育学）	1.13	昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1
人間発達科学科	4	65	3年次10	280	学士（教育学）	1.13	平成9年度	同上
法学部	4	150	3年次10	620	学士（法学）	1.02	昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1
法律・政治学科	4	150	3年次10	620	学士（法学）	1.02	平成9年度	同上
経済学部	4	205	3年次10	840	学士（経済学）	1.02	昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1
経済学科	4	140	—	560	学士（経済学）	—	昭和24年度	同上
経営学科	4	65	—	260	学士（経済学）	—	昭和24年度	同上
学部共通	—	—	3年次10	20	学士（経済学）	—	—	同上
情報文化学部	4	—	—	—	学士（情報文化学）	—	平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1
自然情報学科	4	—	—	—	学士（情報文化学）	—	平成5年度	同上
社会システム情報学科	4	—	—	—	学士（情報文化学）	—	平成5年度	同上
学部共通	—	—	3年次—	—	学士（情報文化学）	—	—	同上
情報学部	4	135	3年次10	560	学士（情報学）	1.02	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1
自然情報学科	4	38	3年次4	160	学士（情報学）	1.07	平成29年度	同上
人間・社会情報学科	4	38	3年次4	160	学士（情報学）	0.92	平成29年度	同上
コンピュータ科学科	4	59	3年次2	240	学士（情報学）	1.06	平成29年度	同上
理学部	4	270	—	1,080	学士（理学）	1.03	昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1
数学科	4	55	—	220	学士（理学）	—	平成7年度	同上
物理学科	4	90	—	360	学士（理学）	—	昭和24年度	同上
化学科	4	50	—	200	学士（理学）	—	昭和24年度	同上
生命理学科	4	50	—	200	学士（理学）	—	平成8年度	同上
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士（理学）	—	平成4年度	同上
医学部	4・6	307	3年次5	1,462	学士（医学）	1.04	昭和24年度	—
					学士（看護学）			
					学士（保健学）			
					学士（リハビリテーション学）			
医学科	6	107	3年次5	662	学士（医学）	1.03	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65
保健学科	4	200	—	800	学士（看護学）	1.04	平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20
					学士（保健学）			

経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。

平成29年度より学生募集停止

理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。

					学士 (リハビリテーション学)							
工学部	4	680	-	2,720	学士 (工学)	1.02	昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1				
化学・生物工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成8年度	同上	平成29年度より学生募集停止			
物理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成9年度	同上	平成29年度より学生募集停止			
電気電子・情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成7年度	同上	平成29年度より学生募集停止			
機械・航空工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成6年度	同上	平成29年度より学生募集停止			
環境土木・建築学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成8年度	同上	平成29年度より学生募集停止			
化学生命工学科	4	99	-	396	学士 (工学)	1.03	平成29年度	同上				
物理工学科	4	83	-	332	学士 (工学)	1.01	平成29年度	同上				
マテリアル工学科	4	110	-	440	学士 (工学)	1.02	平成29年度	同上				
電気電子情報工学科	4	118	-	472	学士 (工学)	1.00	平成29年度	同上				
機械・航空宇宙工学科	4	150	-	600	学士 (工学)	1.02	平成29年度	同上				
エネルギー理工学科	4	40	-	160	学士 (工学)	1.00	平成29年度	同上				
環境土木・建築学科	4	80	-	320	学士 (工学)	1.05	平成29年度	同上				
農学部	4	170	-	680	学士 (農学)	1.04	昭和26年度	愛知県名古屋市千種区不老町1				
生物環境科学科	4	35	-	140	学士 (農学)	1.05	平成18年度	同上				
資源生物科学科	4	55	-	220	学士 (農学)	1.03	平成18年度	同上				
応用生命科学科	4	80	-	320	学士 (農学)	1.05	平成18年度	同上				
文学研究科												
人文学専攻 (博士後期課程)	3	-	-	-	博士 (文学) 博士 (歴史学)	-	昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1 同上	平成29年度より学生募集停止			
人文学研究科												
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	-	208	修士 (文学) 修士 (歴史学) 修士 (学術)	0.98	平成29年度 平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1 同上				
(博士後期課程)	3	61	-	183	博士 (文学) 博士 (歴史学) 博士 (学術)	0.60						
教育発達科学研究科												
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	-	64	修士 (教育学) 修士 (教育)	0.93	昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1 同上				
(博士後期課程)	3	16	-	48	博士 (教育学)	0.68						

					博士 (教育)				
心理発達科学専攻									
(博士前期課程)	2	22	—	44	修士 (心理学)	0.95	平成12年度	同上	
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士 (臨床心理学) 博士 (心理学)	0.73			
法学研究科									
総合法政専攻									
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士 (法学)	0.77	昭和28年度 平成16年度	愛知県名古屋市千種区不老町1 同上	
(博士後期課程)	3	17	—	51	修士 (比較法学) 修士 (現代法学) 博士 (法学)	0.11			
実務法曹養成専攻									
(専門職学位課程)	3	50	—	150	博士 (比較法学) 博士 (現代法学) 法務博士 (専門職)	0.72	平成16年度	同上	
経済学研究科									
社会経済システム専攻									
(博士前期課程)	2	30	—	60	修士 (経済学)	0.76	昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1 同上	
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士 (経営管理学) 博士 (経済学)	0.26			
産業経営システム専攻									
(博士前期課程)	2	14	—	28	修士 (経済学)	0.85	平成12年度	同上	
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士 (経済学)	0.14			
情報学研究科									
数理情報学専攻									
(博士前期課程)	2	14	—	28	修士 (情報学) 修士 (学術)	1.14	平成29年度 平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1 同上	
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (情報学) 博士 (学術)	0.50			
複雑系科学専攻									
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士 (情報学) 修士 (学術)	1.16	平成29年度	同上	
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (情報学) 博士 (学術)	0.37			
社会情報学専攻									

(博士前期課程)	2	18	—	36	修士 (情報学) 修士 (学術)	0.94	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (情報学) 博士 (学術)	0.20		
心理・認知科学専攻								
(博士前期課程)	2	15	—	30	修士 (情報学) 修士 (学術)	0.86	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士 (情報学) 博士 (学術)	0.71		
情報システム学専攻								
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士 (情報学) 修士 (学術)	1.06	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士 (情報学) 博士 (学術)	0.22		
知能システム学専攻								
(博士前期課程)	2	29	—	58	修士 (情報学) 修士 (学術)	1.75	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (情報学) 博士 (学術)	2.00		
理学研究科								
素粒子宇宙物理学専攻							昭和28年度 平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1 同上
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士 (理学)	1.10		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士 (理学)	0.40		
物質理学専攻								
(博士前期課程)	2	63	—	126	修士 (理学)	1.15	平成7年度	同上
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士 (理学)	0.81		
生命理学専攻								
(博士前期課程)	2	42	—	84	修士 (理学)	0.97	平成8年度	同上
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士 (理学)	0.11		
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻								
(博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (理学)	0.00	平成28年度	同上
医学系研究科								
総合医学専攻							昭和30年度 平成25年度	— 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65
(博士課程)	4	151	—	604	博士 (医学)	1.09		
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻								
(博士課程)	4	4	—	16	博士 (医学)	0.00	平成27年度	同上
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻								

既設大学等の状況	(博士課程)	4	4	—	16	博士 (医学)	0.00	平成29年度	同上		
	名古屋大学・フラインブルク大学国際連携総合医学専攻										
	(博士課程)	4	2	—	8	博士 (医学)	0.00	平成30年度	同上		
	医科学専攻										
	(修士課程)	2	20	—	40	修士 (医科学)	0.75	平成13年度	同上		
	医療行政コース	1	10	—	10	修士 (医療行政学)	0.00				
	総合保健学専攻										
	(博士前期課程)	2	70	—	140	修士 (看護学) 修士 (医療技術学) 修士 (リハビリテーション)	0.82	令和2年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20		
	(博士後期課程)	3	20	—	40	博士 (看護学) 博士 (医療技術学) 博士 (リハビリテーション)	0.80				
	看護学専攻										
	(博士前期課程)	2	—	—	—	修士 (看護学)	—	平成14年度	同上	令和2年度より学生募集停止	
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (看護学)	—	—	—	—	
	医療技術学専攻										
	(博士前期課程)	2	—	—	—	修士 (医療技術学)	—	平成14年度	同上	令和2年度より学生募集停止	
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (医療技術学)	—	—	—	—	
	リハビリテーション療法学専攻										
	(博士前期課程)	2	—	—	—	修士 (リハビリテーション療法)	—	平成14年度	同上	令和2年度より学生募集停止	
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (リハビリテーション療法)	—	—	—	—	
	工学研究科										
	化学・生物工学専攻								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止	
	マテリアル理工学専攻										
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止	
	機械理工学専攻										
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止	
	社会基盤工学専攻										
	(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止	
結晶材料工学専攻											
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	昭和52年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止		
マイクロ・ナノシステム工学専攻											
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成16年度	同上	平成29年度より学生募集停止		
計算理工学専攻											
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (工学)	—	平成9年度	同上	平成29年度より学生募集停止		
有機・高分子化学専攻											
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士 (工学)	0.97	平成29年度	同上			

(博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	0.62		
応用物質化学専攻								
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士 (工学)	1.05	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	0.50		
生命分子工学専攻								
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士 (工学)	1.03	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士 (工学)	0.66		
応用物理学専攻								
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士 (工学)	1.12	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士 (工学)	0.44		
物質科学専攻								
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士 (工学)	0.97	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士 (工学)	0.44		
材料デザイン工学専攻								
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士 (工学)	0.91	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	0.37		
物質プロセス工学専攻								
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士 (工学)	1.08	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士 (工学)	1.33		
化学システム工学専攻								
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士 (工学)	1.14	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	1.37		
電気工学専攻								
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士 (工学)	1.35	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士 (工学)	0.66		
電子工学専攻								
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士 (工学)	1.23	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士 (工学)	0.76		
情報・通信工学専攻								
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士 (工学)	1.33	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	0.75		
機械システム工学専攻								
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士 (工学)	1.31	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士 (工学)	0.57		
マイクロ・ナノ機械理工学専攻								
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士 (工学)	1.36	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	0.25		
航空宇宙工学専攻								
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士 (工学)	1.36	平成29年度	同上
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士 (工学)	0.87		

エネルギー理工学専攻												
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士 (工学)	1.22	平成29年度	同上				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士 (工学)	1.00						
総合エネルギー工学専攻												
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士 (工学)	0.94	平成29年度	同上				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士 (工学)	0.25						
土木工学専攻												
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士 (工学)	0.91	平成29年度	同上				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士 (工学)	0.33						
生命農学研究科												
生物圏資源学専攻							昭和30年度	愛知県名古屋市千種区不老町1				
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士 (農学)	—	平成11年度	同上			平成30年度より学生募集停止	
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (農学)	—						
生物機構・機能科学専攻												
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (農学)	—	平成9年度	同上			平成30年度より学生募集停止	
生命技術科学専攻												
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (農学)	—	平成16年度	同上			平成30年度より学生募集停止	
森林・環境資源科学専攻												
(博士前期課程)	2	27	—	54	修士 (農学)	1.11	平成30年度	愛知県名古屋市千種区不老町1				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士 (農学)	1.00						
植物生産科学専攻												
(博士前期課程)	2	30	—	60	修士 (農学)	1.26	平成30年度	同上				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士 (農学)	0.77						
動物科学専攻												
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士 (農学)	1.07	平成30年度	同上				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士 (農学)	0.42						
応用生命科学専攻												
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士 (農学)	1.09	平成30年度	同上				
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士 (農学)	0.43						
名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻												
(博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (農学)	0.00	平成30年度	同上				
名古屋大学・西オーストラリア大学国際連携生命農学専攻												
(博士後期課程)	3	2	—	6	博士 (農学)	0.00	平成31年度	同上				
国際開発研究科												
国際開発専攻							平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1				
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士 (国際開発学) 修士 (学術)	—	平成3年度	同上			平成30年度より学生募集停止	

(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (国際開 発学) 博士 (学術)	—			
国際協力専攻									
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士 (国際開 発学) 修士 (学術)	—	平成4 年度	同上	平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (国際開 発学) 博士 (学術)	—			
国際コミュニケーション専攻									
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (学術)	—	平成5 年度	同上	平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻									
(博士前期課程)	2	44	—	88	修士 (国際開 発学) 修士 (学術)	0.90	平成30 年度	同上	
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士 (国際開 発学) 博士 (学術)	0.50			
多元数理科学研究科									
多元数理科学専攻									
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士 (数理 学)	1.10	平成7 年度	愛知県名古屋市千 種区不老町1 同上	
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士 (数理 学)	0.50	平成7 年度		
国際言語文化研究科									
日本語文化専攻									
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (文学) 博士 (学術)	—	平成10 年度 平成10 年度	愛知県名古屋市千 種区不老町1 同上	平成29年度より学生募集停止
国際多元文化専攻									
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (文学) 博士 (学術)	—	平成10 年度	同上	
環境学研究科									
地球環境科学専攻									
(博士前期課程)	2	53	—	106	修士 (環境 学) 修士 (理学)	0.77	平成13 年度 平成13 年度	愛知県名古屋市千 種区不老町1 同上	
(博士後期課程)	3	24	—	72	博士 (環境 学) 博士 (理学)	0.41			
都市環境学専攻									
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士 (環境 学) 修士 (工学)	1.19	平成13 年度	同上	
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士 (建築 学) 博士 (環境 学) 博士 (工学)	0.23			

社会環境学専攻					博士 (建築学)							
(博士前期課程)	2	27	—	54	修士 (環境学) 修士 (社会学) 修士 (地理学) 修士 (法学)	0.66	平成13年度	同上				
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士 (経済学) 博士 (環境学) 博士 (社会学) 博士 (地理学) 博士 (法学) 博士 (経済学)	0.30						
情報科学研究科												
情報システム学専攻												
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士 (情報科学) 修士 (工学) 修士 (学術)	—	平成15年度 平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1 同上				平成29年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (情報科学) 博士 (工学) 博士 (学術)	—						
メディア科学専攻												
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (情報科学) 博士 (工学) 博士 (学術)	—	平成15年度	同上				
複雑系科学専攻												
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (情報科学) 博士 (工学) 博士 (学術)	—	平成15年度	同上				
社会システム情報学専攻												
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士 (情報科学) 博士 (工学) 博士 (学術)	—	平成15年度	同上				
創薬科学研究科												
基盤創薬学専攻												
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士 (創薬科学)	1.09	平成24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1 同上				
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士 (創薬科学)	1.10	平成24年度 平成26年度	同上				

附属施設の概要

名称：教育学部附属小中学校  
 目的：小学校教育，中学校教育，研究及び教員養成  
 所在地：岐阜県岐阜市加納大手町74番地  
 設置年月：令和2年4月  
 規模等（延面積）：13,531㎡

名称：医学部附属病院  
 目的：診療，医学の教育及び研究  
 所在地：岐阜県岐阜市柳戸1番1  
 設置年月：昭和42年6月  
 規模等（延面積）：70,002㎡

名称：応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター  
 美濃加茂農場  
 目的：農学，獣医学の教育及び研究  
 所在地：岐阜県美濃加茂市牧野1918-1  
 設置年月：平成16年4月  
 規模等（延面積）：建物 1,690㎡  
 土地 95,831㎡

名称：応用生物科学部附属岐阜フィールド科学教育研究センター  
 位山演習林  
 目的：農学の教育及び研究  
 所在地：岐阜県下呂市萩原町山之口  
 設置年月：平成16年4月  
 規模等（延面積）：建物 1,103㎡  
 土地 6,424,445㎡

名称：応用生物科学部附属動物病院  
 目的：診療，獣医学の教育及び研究  
 所在地：岐阜県岐阜市柳戸1番1  
 設置年月：平成16年4月  
 規模等（延面積）：3,297㎡

名称：教育推進・学生支援機構  
 目的：教育推進，学生支援  
 所在地：岐阜県岐阜市柳戸1番1  
 設置年月：平成25年12月  
 規模等（延面積）：7,229㎡

名称：グローバル推進機構  
 目的：国際協働教育推進，地域国際化推進，留学推進，国際企画  
 所在地：岐阜県岐阜市柳戸1番1  
 設置年月：平成31年4月  
 規模等（延面積）：1,118㎡

名称：学術研究・産学官連携推進本部  
 目的：研究推進，教育研究活動支援，産学連携・地域連携推進  
 所在地：岐阜県岐阜市柳戸1番1  
 設置年月：令和2年4月  
 規模等（延面積）：7,825㎡

名称：高等研究院  
 目的：研究支援  
 所在地：岐阜県岐阜市柳戸1番1  
 設置年月：令和2年4月  
 規模等（延面積）：7,825㎡

名称：地域協学センター  
 目的：地域協働  
 所在地：岐阜県岐阜市柳戸1番1  
 設置年月：平成25年12月  
 規模等（延面積）：336㎡

名称：流域圏科学研究センター  
 目的：流域圏科学分野の研究  
 所在地：岐阜県岐阜市柳戸1番1  
 （高山試験地 岐阜県高山市岩井町919の47）  
 設置年月：平成14年4月  
 規模等（延面積）：1,890㎡

名称：保健管理センター  
 目的：学生及び教職員の健康管理  
 所在地：岐阜県岐阜市柳戸1番1  
 設置年月：昭和49年4月

	<p>規模等（延面積）：525㎡</p> <p>名 称：医学教育開発研究センター</p> <p>目 的：医学教育に関する研修、調査分析等</p> <p>所 在 地：岐阜県岐阜市柳戸1番1</p> <p>設 置 年 月：平成13年4月</p> <p>規模等（延面積）：535㎡</p>	
<p>(注)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 共同学科等の認可の申請及び届出の場合、「計画の区分」、「新設学部等の目的」、「新設学部等の概要」、「教育課程」及び「教員組織の概要」の「新設分」の欄に記入せず、斜線を引くこと。</li> <li>2 「教員組織の概要」の「既設分」については、共同学科等に係る数を除いたものとする。</li> <li>3 私立の大学の学部若しくは大学院の研究科又は短期大学の学科又は高等専門学校の収容定員に係る学則の変更の届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」及び「体育館」の欄に記入せず、斜線を引くこと。</li> <li>4 大学等の廃止の認可の申請又は届出を行おうとする場合は、「教育課程」、「校地等」、「校舎」、「教室等」、「専任教員研究室」、「図書・設備」、「図書館」、「体育館」及び「経費の見積もり及び維持方法の概要」の欄に記入せず、斜線を引くこと。</li> <li>5 「教育課程」の欄の「実験・実習」には、実技も含むこと。</li> <li>6 空欄には、「－」又は「該当なし」と記入すること。</li> </ol>		

国立大学法人東海国立大学機構 設置申請に関わる組織の移行表(岐阜大学)

令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
岐阜大学				岐阜大学				
教育学部				教育学部				
学校教育教員養成課程	220	—	880	学校教育教員養成課程	220	—	880	
地域科学部		3年次		地域科学部		3年次		
地域政策学科	50	5	210	地域政策学科	50	5	210	
地域文化学科	50	5	210	地域文化学科	50	5	210	
医学部		3年次		医学部		3年次		
医学科(6年制)	110	—	660	医学科(6年制)	85	—	510	臨時定員増終了による定員変更(Δ25)
看護学科	80	—	320	看護学科	80	—	320	
工学部		3年次		工学部		3年次		
社会基盤工学科	68	10	292	社会基盤工学科	68	10	292	
機械工学科	134	10	556	機械工学科	134	10	556	
化学・生命工学科	154	2	620	化学・生命工学科	154	2	620	
電気電子・情報工学科	174	8	712	電気電子・情報工学科	174	8	712	
応用生物科学部		3年次		応用生物科学部		3年次		
応用生命科学課程	85	5	350	応用生命科学課程	85	5	350	学部等連係課程による設置のため定員は工学部及び応用生物科学部のものを利用。そのため【】内の数値は合計数の外数。
生産環境科学課程	85	5	350	生産環境科学課程	85	5	350	
共同獣医学科(6年制)	30	—	180	共同獣医学科(6年制)	30	—	180	
社会システム経営学環	【30】	—	【120】	社会システム経営学環	【30】	—	【120】	
計	1,240	50	5,340	計	1,215	50	5,190	
岐阜大学大学院				岐阜大学大学院				
教育学研究科				教育学研究科				
教職実践開発専攻(P)	25	—	50	教職実践開発専攻(P)	0	—	0	令和4年4月学生募集停止
心理発達支援専攻(M)	10	—	20	心理発達支援専攻(M)	0	—	0	令和4年4月学生募集停止
総合教科教育専攻(M)	34	—	68	総合教科教育専攻(M)	0	—	0	令和4年4月学生募集停止
				教職実践開発専攻(P)	40	—	80	専攻の設置(設置届出)
				教育臨床心理学専攻(M)	5	—	10	専攻の設置(設置届出)
地域科学研究科				地域科学研究科				
地域政策専攻(M)	12	—	24	地域政策専攻(M)	12	—	24	
地域文化専攻(M)	8	—	16	地域文化専攻(M)	8	—	16	
医学系研究科				医学系研究科				
医科学専攻(4年制D)	47	—	188	医科学専攻(4年制D)	47	—	188	
看護学専攻(M)	8	—	16	看護学専攻(M)	8	—	16	
医療者教育学専攻(M)	6	—	12	医療者教育学専攻(M)	6	—	12	
工学研究科				工学研究科				
工学専攻(D)	23	—	69	工学専攻(D)	23	—	69	
岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				
国際連携統合機械工学専攻(D)	2	—	6	国際連携統合機械工学専攻(D)	2	—	6	
岐阜大学・マレーシア国民大学				岐阜大学・マレーシア国民大学				
国際連携材料科学工学専攻(D)	2	—	6	国際連携材料科学工学専攻(D)	2	—	6	
自然科学技術研究科				自然科学技術研究科				
生命科学・化学専攻(M)	74	—	148	生命科学・化学専攻(M)	74	—	148	
生物生産環境科学専攻(M)	42	—	84	生物生産環境科学専攻(M)	42	—	84	
環境社会基盤工学専攻(M)	29	—	58	環境社会基盤工学専攻(M)	29	—	58	
物質・ものづくり工学専攻(M)	67	—	134	物質・ものづくり工学専攻(M)	67	—	134	
知能理工学専攻(M)	81	—	162	知能理工学専攻(M)	81	—	162	
エネルギー工学専攻(M)	72	—	144	エネルギー工学専攻(M)	72	—	144	
岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				
国際連携食品科学技術専攻(M)	10	—	20	国際連携食品科学技術専攻(M)	10	—	20	
共同獣医学研究科				共同獣医学研究科				
共同獣医学専攻(4年制D)	6	—	24	共同獣医学専攻(4年制D)	6	—	24	
連合農学研究科				連合農学研究科				
生物生産科学専攻(D)	7	—	21	生物生産科学専攻(D)	7	—	21	
生物環境科学専攻(D)	5	—	15	生物環境科学専攻(D)	5	—	15	
生物資源科学専攻(D)	6	—	18	生物資源科学専攻(D)	6	—	18	
岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				岐阜大学・インド工科大学グワハティ校				
国際連携食品科学技術専攻(D)	2	—	6	国際連携食品科学技術専攻(D)	2	—	6	
連合創薬医療情報研究科				連合創薬医療情報研究科				
創薬科学専攻(D)	3	—	9	創薬科学専攻(D)	3	—	9	
医療情報学専攻(D)	3	—	9	医療情報学専攻(D)	3	—	9	
計	584	—	1,327	計	560	—	1,279	

令和3年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	令和4年度	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	変更の事由
名古屋大学				名古屋大学				
文学部 人文学科	125	3年次 10	520	文学部 人文学科	125	3年次 10	520	
教育学部 人間発達科学科	65	3年次 10	280	教育学部 人間発達科学科	65	3年次 10	280	
法学部 法律・政治学科	150	3年次 10	620	法学部 法律・政治学科	150	3年次 10	620	
経済学部 経済学科	140	3年次 —	560	経済学部 経済学科	140	3年次 —	560	
経営学科	65	—	260	経営学科	65	—	260	
学部共通	—	10	20	学部共通	—	10	20	
情報学部 自然情報学科	38	3年次 4	160	情報学部 自然情報学科	38	3年次 4	160	
人間・社会情報学科	38	4	160	人間・社会情報学科	38	4	160	
コンピュータ科学科	59	2	240	コンピュータ科学科	59	2	240	
理学部 数理学科	55	—	220	理学部 数理学科	55	—	220	
物理学科	90	—	360	物理学科	90	—	360	
化学科	50	—	200	化学科	50	—	200	
生命理学科	50	—	200	生命理学科	50	—	200	
地球惑星科学科	25	—	100	地球惑星科学科	25	—	100	
医学部 医学科(6年制)	107	3年次 5	662	医学部 医学科(6年制)	100	2年次 4	620	入学定員変更(△7) 編入学定員変更(△1) 編入学を2年次に変更
保健学科	200	—	800	保健学科	200	—	800	
工学部 化学生命工学科	99	—	396	工学部 化学生命工学科	99	—	396	
物理工学科	83	—	332	物理工学科	83	—	332	
マテリアル工学科	110	—	440	マテリアル工学科	110	—	440	
電気電子情報工学科	118	—	472	電気電子情報工学科	118	—	472	
機械・航空宇宙工学科	150	—	600	機械・航空宇宙工学科	150	—	600	
エネルギー理工学科	40	—	160	エネルギー理工学科	40	—	160	
環境土木・建築学科	80	—	320	環境土木・建築学科	80	—	320	
農学部 生物環境科学科	35	—	140	農学部 生物環境科学科	35	—	140	
資源生物科学科	55	—	220	資源生物科学科	55	—	220	
応用生命科学科	80	—	320	応用生命科学科	80	—	320	
合計	2,107	55	8,762	合計	2,100	54	8,720	
名古屋大学大学院				名古屋大学大学院				
人文学研究科 人文学専攻(M)	104	—	208	人文学研究科 人文学専攻(M)	104	—	208	
人文学専攻(D)	61	—	183	人文学専攻(D)	61	—	183	
教育発達科学研究科 教育科学専攻(M)	32	—	64	教育発達科学研究科 教育科学専攻(M)	32	—	64	
教育科学専攻(D)	16	—	48	教育科学専攻(D)	16	—	48	
心理発達科学専攻(M)	22	—	44	心理発達科学専攻(M)	22	—	44	
心理発達科学専攻(D)	15	—	45	心理発達科学専攻(D)	15	—	45	
法学研究科 総合法政専攻(M)	35	—	70	法学研究科 総合法政専攻(M)	35	—	70	
総合法政専攻(D)	17	—	51	総合法政専攻(D)	17	—	51	
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	50	—	150	実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	50	—	150	
経済学研究科 社会経済システム専攻(M)	30	—	60	経済学研究科 社会経済システム専攻(M)	30	—	60	
社会経済システム専攻(D)	15	—	45	社会経済システム専攻(D)	15	—	45	
産業経営システム専攻(M)	14	—	28	産業経営システム専攻(M)	14	—	28	
産業経営システム専攻(D)	7	—	21	産業経営システム専攻(D)	7	—	21	
情報学研究科 数理情報学専攻(M)	14	—	28	情報学研究科 数理情報学専攻(M)	14	—	28	
数理情報学専攻(D)	4	—	12	数理情報学専攻(D)	4	—	12	
複雑系科学専攻(M)	36	—	72	複雑系科学専攻(M)	36	—	72	
複雑系科学専攻(D)	8	—	24	複雑系科学専攻(D)	8	—	24	
社会情報学専攻(M)	18	—	36	社会情報学専攻(M)	18	—	36	
社会情報学専攻(D)	5	—	15	社会情報学専攻(D)	5	—	15	
心理・認知科学専攻(M)	15	—	30	心理・認知科学専攻(M)	15	—	30	
心理・認知科学専攻(D)	7	—	21	心理・認知科学専攻(D)	7	—	21	
情報システム学専攻(M)	32	—	64	情報システム学専攻(M)	32	—	64	
情報システム学専攻(D)	9	—	27	情報システム学専攻(D)	9	—	27	
知能システム学専攻(M)	29	—	58	知能システム学専攻(M)	29	—	58	
知能システム学専攻(D)	10	—	30	知能システム学専攻(D)	10	—	30	

理学研究科

素粒子宇宙物理学専攻(M)	66	—	132
素粒子宇宙物理学専攻(D)	30	—	90
物質物理学専攻(M)	63	—	126
物質物理学専攻(D)	22	—	66
生命物理学専攻(M)	42	—	84
生命物理学専攻(D)	18	—	54
名古屋大学・エディンバラ大学 国際連携物理学専攻(D)	2	—	6

医学系研究科

総合医学専攻(D)	151	—	604
名古屋大学・アデレード大学 国際連携総合医学専攻(D)	4	—	16
名古屋大学・ルンド大学 国際連携総合医学専攻(D)	4	—	16
名古屋大学・フライブルク大 学国際連携総合医学専攻(D)	2	—	8
医科学専攻(修士課程)	20	—	40
医科学専攻医療行政コース	10	—	10
総合保健学専攻(M)	70	—	140
総合保健学専攻(D)	20	—	60

工学研究科

有機・高分子化学専攻(M)	34	—	68
有機・高分子化学専攻(D)	8	—	24
応用物質化学専攻(M)	34	—	68
応用物質化学専攻(D)	8	—	24
生命分子工学専攻(M)	28	—	56
生命分子工学専攻(D)	6	—	18
応用物理学専攻(M)	39	—	78
応用物理学専攻(D)	9	—	27
物質科学専攻(M)	39	—	78
物質科学専攻(D)	9	—	27
材料デザイン工学専攻(M)	34	—	68
材料デザイン工学専攻(D)	8	—	24
物質プロセス工学専攻(M)	35	—	70
物質プロセス工学専攻(D)	9	—	27
化学システム工学専攻(M)	34	—	68
化学システム工学専攻(D)	8	—	24
電気工学専攻(M)	34	—	68
電気工学専攻(D)	9	—	27
電子工学専攻(M)	47	—	94
電子工学専攻(D)	13	—	39
情報・通信工学専攻(M)	33	—	66
情報・通信工学専攻(D)	8	—	24
機械システム工学専攻(M)	66	—	132
機械システム工学専攻(D)	14	—	42
マイクロ・ナノ機械理工学 専攻(M)	36	—	72
マイクロ・ナノ機械理工学 専攻(D)	8	—	24
航空宇宙工学専攻(M)	38	—	76
航空宇宙工学専攻(D)	8	—	24
エネルギー理工学専攻(M)	18	—	36
エネルギー理工学専攻(D)	5	—	15
総合エネルギー工学専攻(M)	18	—	36
総合エネルギー工学専攻(D)	4	—	12
土木工学専攻(M)	36	—	72
土木工学専攻(D)	9	—	27

生命農学研究科

森林・資材科学専攻(M)	27	—	54
森林・資材科学専攻(D)	6	—	18
植物生産科学専攻(M)	30	—	60
植物生産科学専攻(D)	9	—	27
動物科学専攻(M)	28	—	56
動物科学専攻(D)	7	—	21
応用生命科学専攻(M)	66	—	132
応用生命科学専攻(D)	16	—	48
名古屋大学・カセサート大学 国際連携生命農学専攻(D)	2	—	6
名古屋大学・西オーストラリア 大学国際連携生命農学専攻	2	—	6

国際開発研究科

国際開発協力専攻(M)	44	—	88
国際開発協力専攻(D)	22	—	66

多元数理科学研究科

多元数理科学専攻(M)	47	—	94
多元数理科学専攻(D)	30	—	90

環境学研究科

地球環境科学専攻(M)	53	—	106
地球環境科学専攻(D)	24	—	72
都市環境学専攻(M)	47	—	94
都市環境学専攻(D)	21	—	63
社会環境学専攻(M)	27	—	54
社会環境学専攻(D)	13	—	39

創薬科学研究科

基盤創薬学専攻(M)	32	—	64
基盤創薬学専攻(D)	10	—	30

合計 2,438 — 5,809

理学研究科

理学専攻(M)	188	—	376	研究科の専攻の設置(設置届出)
理学専攻(D)	70	—	210	研究科の専攻の設置(設置届出)
	0	—	0	令和4年4月学生募集停止
	0	—	0	令和4年4月学生募集停止
	0	—	0	令和4年4月学生募集停止
	0	—	0	令和4年4月学生募集停止
	0	—	0	令和4年4月学生募集停止
	0	—	0	令和4年4月学生募集停止
名古屋大学・エディンバラ大 学	2	—	6	

医学系研究科

総合医学専攻(D)	151	—	604
名古屋大学・アデレード大学 国際連携総合医学専攻(D)	4	—	16
名古屋大学・ルンド大学 国際連携総合医学専攻(D)	4	—	16
名古屋大学・フライブルク大 学国際連携総合医学専攻	2	—	8
医科学専攻(修士課程)	20	—	40
医科学専攻医療行政コース	10	—	10
総合保健学専攻(M)	70	—	140
総合保健学専攻(D)	20	—	60

工学研究科

有機・高分子化学専攻(M)	34	—	68	
有機・高分子化学専攻(D)	8	—	24	
応用物質化学専攻(M)	34	—	68	
応用物質化学専攻(D)	8	—	24	
生命分子工学専攻(M)	28	—	56	
生命分子工学専攻(D)	6	—	18	
応用物理学専攻(M)	39	—	78	
応用物理学専攻(D)	9	—	27	
物質科学専攻(M)	39	—	78	
物質科学専攻(D)	9	—	27	
材料デザイン工学専攻(M)	34	—	68	
材料デザイン工学専攻(D)	7	—	21	
物質プロセス工学専攻(M)	35	—	70	
物質プロセス工学専攻(D)	8	—	24	
化学システム工学専攻(M)	34	—	68	
化学システム工学専攻(D)	7	—	21	
電気工学専攻(M)	34	—	68	
電気工学専攻(D)	9	—	27	
電子工学専攻(M)	47	—	94	
電子工学専攻(D)	13	—	39	
情報・通信工学専攻(M)	33	—	66	
情報・通信工学専攻(D)	8	—	24	
機械システム工学専攻(M)	66	—	132	
機械システム工学専攻(D)	14	—	42	
マイクロ・ナノ機械理工学 専攻(M)	36	—	72	
マイクロ・ナノ機械理工学 専攻(D)	8	—	24	
航空宇宙工学専攻(M)	38	—	76	
航空宇宙工学専攻(D)	8	—	24	
エネルギー理工学専攻(M)	18	—	36	
エネルギー理工学専攻(D)	5	—	15	
総合エネルギー工学専攻(M)	18	—	36	
総合エネルギー工学専攻(D)	4	—	12	
土木工学専攻(M)	36	—	72	
土木工学専攻(D)	9	—	27	
名古屋大学・チュラロンコン 大学国際連携サステナブル 材料工学専攻	3	—	9	研究科の専攻の設置 (意見伺い)

生命農学研究科

森林・資材科学専攻(M)	27	—	54
森林・資材科学専攻(D)	6	—	18
植物生産科学専攻(M)	30	—	60
植物生産科学専攻(D)	9	—	27
動物科学専攻(M)	28	—	56
動物科学専攻(D)	7	—	21
応用生命科学専攻(M)	66	—	132
応用生命科学専攻(D)	16	—	48
名古屋大学・カセサート大学 国際連携生命農学専攻(D)	2	—	6
名古屋大学・西オーストラリア 大学国際連携生命農学専攻	2	—	6

国際開発研究科

国際開発協力専攻(M)	44	—	88
国際開発協力専攻(D)	22	—	66

多元数理科学研究科

多元数理科学専攻(M)	47	—	94
多元数理科学専攻(D)	30	—	90

環境学研究科

地球環境科学専攻(M)	53	—	106
地球環境科学専攻(D)	24	—	72
都市環境学専攻(M)	47	—	94
都市環境学専攻(D)	21	—	63
社会環境学専攻(M)	27	—	54
社会環境学専攻(D)	13	—	39

創薬科学研究科

基盤創薬学専攻(M)	32	—	64
基盤創薬学専攻(D)	10	—	30

合計 2,455 — 5,843

教育課程等の概要															
(大学院教育学研究科教育臨床心理学専攻)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
必修科目	学校臨床心理学研究(教育分野に関する理論と支援の展開)	1前	2			○			1						
	附属学校実践演習Ⅰ	1後	1				○		3	2					共同、集中
	附属学校実践演習Ⅱ	2前	1				○		3	2					共同、集中
	小計(3科目)	—	4	0	0	—	—	—	3	2	0	0	0	0	兼0
専門科目	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1後		2			○								兼1 集中
	発達心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	1前		2			○		1						
	学校臨床心理学特論Ⅰ(教育分野に関する理論と支援の展開)	1前		2			○								兼1 集中・隔年
	学校臨床心理学特論Ⅱ(教育分野に関する理論と支援の展開)	1前		2			○								兼1 集中・隔年
	非行・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1後		2			○		1						
	産業・組織心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	1前		2			○								兼1 集中・隔年
	臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)	1前		2			○		1						
	臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)	1前		2			○			1					
	家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	1前		2			○			1					
	教育心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)	1後		2			○		1						
	相談室実習Ⅰ(心理実践実習)	1通		2					3	2					共同、集中
	相談室実習Ⅱ(心理実践実習)	2通		4					3	2					共同、集中
	学外機関実習Ⅰ(心理実践実習)	1通		1					3	2					共同、集中
	学外機関実習Ⅱ(心理実践実習)	2通		3					3	2					共同、集中
小計(14科目)	—	0	30	0	—	—	—	3	2	0	0	0	0	兼4	
自由科目	臨床心理学特論Ⅰ	1前		2			○		1						
	臨床心理学特論Ⅱ	1後		2			○		1						
	臨床心理面接特論Ⅱ	1後		2			○			1					
	臨床心理査定演習Ⅱ	1後		2			○		1						
	臨床心理基礎実習Ⅰ	1前		1				3	2						共同
	臨床心理基礎実習Ⅱ	1後		1				3	2						共同
	臨床心理実習	2通		2				3	2						共同
	心理学研究法特論	1前		2			○			1					
	心理統計法特論	1前		2			○			1					
	認知心理学特論Ⅰ	1後		2			○			1					
	認知心理学特論Ⅱ	1後		2			○			1					
	心理療法特論Ⅰ	1後		2			○			1					
	心理療法特論Ⅱ	1後		2			○								兼1 集中・隔年
	心理療法特論Ⅲ	1後		2			○								兼1 集中・隔年
グループ・アプローチ特論	1前		2			○								兼1 集中・隔年	
臨床心理学研究Ⅰ	1前		2			○			1						
臨床心理学研究Ⅱ	1後		2			○		1							
知的障害者心理診断法特論	1後		2			○		2						共同、集中	
小計(18科目)	—	0	34	0	—	—	—	3	3	0	0	0	0	兼3	
(課題研究)	課題研究Ⅰ	1後		2			○		3	3					
	課題研究Ⅱ	2前		2			○		3	3					
	課題研究Ⅲ	2後		2			○		3	3					
	小計(3科目)	—	6	0	0	—	—	—	3	3	0	0	0	0	兼0
合計(38科目)		—	10	64	0	—	—	—	3	3	0	0	0	0	兼7
学位又は称号		修士(教育学)			学位又は学科の分野			教育学・保育学関係							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
<b>【修了要件】</b> 40単位以上を修得し、公認心理師・臨床心理士・学校心理士のうちいずれか一つの受験資格を取得すること。 <b>【履修方法】</b> (公認心理師) 必修科目 4単位、専門科目 26単位(※1)、自由科目 4単位、課題研究(修士論文) 6単位 ※1 以下の専門科目の単位を修得すること。 精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)、発達心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)、非行・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)、産業・組織心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)、臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)、臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)、家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)、教育心理学特論(心の健康教育に関する理論と実践)、相談室実習Ⅰ(心理実践実習)、相談室実習Ⅱ(心理実践実習)、学外機関実習Ⅰ(心理実践実習)、学外機関実習Ⅱ(心理実践実習) (臨床心理士) 必修科目 4単位、専門科目 14単位(※2、※4)、自由科目 16単位(※3、※4)、課題研究(修士論文) 6単位 ※2 以下の専門科目の単位を修得すること。 臨床心理査定演習Ⅰ(心理的アセスメントに関する理論と実践)、臨床心理面接特論Ⅰ(心理支援に関する理論と実践)							1学年の学期区分		2期						
							1学期の授業期間		15週						
							1時限の授業時間		90分						

※3 以下の自由科目の単位を修得すること。

臨床心理学特論Ⅰ、臨床心理学特論Ⅱ、臨床心理面接特論Ⅱ、臨床心理査定演習Ⅱ、臨床心理基礎実習Ⅰ、臨床心理基礎実習Ⅱ、臨床心理実習

※4 以下のA群からE群までの各群から2単位以上を修得すること。

A群	自由科目:	心理学研究法特論、心理統計法特論
B群	専門科目:	発達心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）、学校臨床心理学特論Ⅰ（教育分野に関する理論と支援の展開）、学校臨床心理学特論Ⅱ（教育分野に関する理論と支援の展開）、教育心理学特論（心の健康教育に関する理論と実践）
	自由科目:	認知心理学特論Ⅰ、認知心理学特論Ⅱ
C群	専門科目:	非行・犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）、産業・組織心理学特論（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）、家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）
D群	専門科目:	精神医学特論（保健医療分野に関する理論と支援の展開）
E群	自由科目:	心理療法特論Ⅰ、心理療法特論Ⅱ、心理療法特論Ⅲ、グループ・アプローチ特論

(学校心理士)

必修科目 4単位、専門科目 14単位（※5）、自由科目 16単位（※6）、課題研究（修士論文） 6単位

※5 以下の専門科目の単位を修得すること。

発達心理学特論（福祉分野に関する理論と支援の展開）、教育心理学特論（心の健康教育に関する理論と実践）

※6 以下の自由科目の単位を修得すること。

臨床心理学研究Ⅰ、臨床心理学研究Ⅱ、知的障害者心理診断法特論

教育課程等の概要																
【既設】(大学院教育学研究科心理発達支援専攻)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
共通研究科目	教育心理臨床研究	1後		2					2	1						オムニバス・集中 オムニバス・集中
	教育心理臨床研究	1後		2					1	2						
	小計(2科目)	-		4	0				3	3	0	0	0	兼0		
専門科目 臨床心理学コース	臨床心理学特論	1前		2						1						共同 共同 共同 兼1 共同・集中 兼1 共同・集中 兼1 共同・集中 兼1 集中 集中 集中
	臨床心理学特論	1後		2						1						
	臨床心理面接特論 (心理支援に関する理論と実践)	1前		2					1							
	臨床心理面接特論	1後		2					1							
	臨床心理査定演習 (心理的アセスメントに関する理論と実践)	1前		2					1							
	臨床心理査定演習	1後		2					1							
	臨床心理基礎実習	1前		1					1	1						
	臨床心理基礎実習	1後		1					1	1						
	臨床心理実習	2通		2					1	2						
	精神医学特論 (保健医療分野に関する理論と支援の展開)	1後		2					1						兼1	
	心理療法特論	1後		2						1						
	心理療法特論	1後		2						1					兼1	
	心理療法特論	1後		2						1					兼1	
	グループ・アプローチ特論	1前		2					1							
	相談室実習 (心理実践実習)	1通		2					3	2						
	相談室実習 (心理実践実習)	2通		4					3	2						
	学外機関実習 (心理実践実習)	1通		1					3	2						
学外機関実習 (心理実践実習)	2通		3					3	2							
学校心理学コース	教育心理学特論 (心の健康教育に関する理論と実践)	1後		2						1						兼1 兼1 集中 兼1 集中 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	教育心理学特論	1後		2						1						
	心理統計法特論	1前		2						1						
	認知心理学特論	1後		2						1						
	認知心理学特論	1後		2						1						
	発達心理学特論 (福祉分野に関する理論と支援の展開)	1後		2						1						
	心理学研究法特論	1前		2						1						
	学校臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	1前		2					1							
	学校臨床心理学特論 (教育分野に関する理論と支援の展開)	1前		2						1						
	学校臨床心理学研究 (教育分野に関する理論と支援の展開)	1前		2					1							
	臨床心理学研究	1前		2						1						
	臨床心理学研究	1前		2						1						
	非行・犯罪心理学特論 (司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	1前		2						1						
家族心理学特論 (家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2前		2						1							
産業・組織心理学特論 (産業労働分野に関する理論と支援の展開)	1後		2						1							
特別支援教育コース	特別支援教育の理論と実践	1前		2											兼2	オムニバス
	知的障害者指導法特論	1前		2						1						
	知的障害者指導法研究	1後		2						1						
	肢体不自由児教育特論	1前		2								1			兼1	集中
	病弱児教育特論	1後		2									1		兼1	集中
	聴覚障害者教育学特論	1前		2									1			
	聴覚障害者教育学研究	1後		2									1			
	特別支援コーディネーター概論	1前		2					1							
	特別支援コーディネーター実践論	1後		2						1						
	知的障害者心理診断法特論	1後		2						2						共同・集中
	肢体不自由者心理学特論	1後		2						1						兼2
	病弱者心理学特論	1前		2						1						兼2
	視覚障害者心理学特論	1後		2						1						兼2
	聴覚・言語障害者心理学特論	1前		2						1						
	聴覚・言語障害者心理学特研究	1後		2						1						
小計(48科目)	-		0	96	0				5	4	0	1	0	兼14		
課題研究(修士論文)	課題研究 (臨床心理学コース)	1後		2						3	3					
	課題研究 (臨床心理学コース)	2前		2						3	3					
	課題研究 (臨床心理学コース)	2後		2						3	3					
	課題研究 (学校心理学コース)	1後		2						3	3					
	課題研究 (学校心理学コース)	2前		2						3	3					
	課題研究 (学校心理学コース)	2後		2						3	3					
	特別支援教育課題研究	1後		2						1						
	特別支援教育課題研究	2前		2						1						
	特別支援教育課題研究	2後		2						1						
	知的障害者指導法課題研究	1後		2								1				
	知的障害者指導法課題研究	2前		2								1				
	知的障害者指導法課題研究	2後		2								1				
	聴覚・言語障害者心理学課題研究	1後		2						1						
	聴覚・言語障害者心理学課題研究	2前		2						1						
	聴覚・言語障害者心理学課題研究	2後		2						1						

小計(15科目)		-	0	30	0	-	5	4	0	0	0	兼0
合計(65科目)		-	0	130	0	-	5	4	0	0	0	兼14
学位又は称号	修士(教育学)	学位又は学科の分野		教育学・保育学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等					
<b>【修了要件】</b> 30単位以上を修得すること。							1 学年の学期区分		2期			
							1 学期の授業期間		15週			
							1 時限の授業時間		90分			
<b>【履修方法】</b> (臨床心理学コース) 研究科共通科目 4単位( 1), 課題研究 6単位( 2), 臨床心理学に関する科目・学校心理学に関する科目・特別支援教育に関する科目 16単位, 自由選択科目 4単位 1 教育心理臨床研究, 教育心理臨床研究, 学校経営の理論と実践( ), 授業研究基礎論( ), 生徒指導・教育相談の理論と実践( )から2科目を選択して履修すること。 教育学研究科教職実践開発専攻開講科目 2 課題研究 (臨床心理学コース), 課題研究 (臨床心理学コース), 課題研究 (臨床心理学コース)を履修すること。												
(学校心理学コース) 研究科共通科目 4単位( 3), 課題研究 6単位( 4), 学校心理学に関する科目・特別支援教育に関する科目 16単位, 自由選択科目 4単位 3 教育心理臨床研究, 教育心理臨床研究, 学校経営の理論と実践( ), 授業研究基礎論( ), 生徒指導・教育相談の理論と実践( )から2科目を選択して履修すること。 教育学研究科教職実践開発専攻開講科目 4 課題研究 (学校心理学コース), 課題研究 (学校心理学コース), 課題研究 (学校心理学コース)を履修すること。												
(特別支援教育コース) 研究科共通科目 4単位( 5), 課題研究 6単位( 6), 学校心理学に関する科目・特別支援教育に関する科目 16単位, 自由選択科目 4単位 5 教育心理臨床研究, 教育心理臨床研究, 学校経営の理論と実践( ), 授業研究基礎論( ), 生徒指導・教育相談の理論と実践( )から2科目を選択して履修すること。 教育学研究科教職実践開発専攻開講科目 6 特別支援教育課題研究, 特別支援教育課題研究, 特別支援教育課題研究, 知的障害者指導法課題研究, 知的障害者指導法課題研究, 知的障害者指導法課題研究, 聴覚・言語障害者心理学課題研究, 聴覚・言語障害者心理学課題研究, 聴覚・言語障害者心理学課題研究 から所属するコースが指定する科目を履修すること。												

教 育 課 程 等 の 概 要														
(岐阜大学教育学部学校教育教員養成課程)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
全学 共通 教育	初年次セミナー	1前	2			○			38	39	0	6	0	クラス分け
	人文科学	哲学入門 (正義について哲学しよう)	1前	2		○								兼1
	哲学入門 (西洋哲学入門)	1後	2			○								兼1
	近現代思想 (近現代の平等)	1後	2			○								兼1
	科学論 (科学論入門：近代的自然観と自然科学)	1前	2			○								兼1
	科学論 (生命と癒しの科学論)	1前	2			○								兼1
	東洋・日本思想 (中国の古典思想)	1前	2			○			1					
	東洋・日本思想 (インド思想の特質)	1前	2			○								兼1
	倫理学 (倫理学とは何か)	1後	2			○								兼1
	宗教学 (比較宗教学概論)	1前	2			○								兼1
	宗教学 (日本の文化と宗教)	1後	2			○								兼1
	歴史学入門 (歴史学とは何か)	1前	2			○								兼1
	西洋・中東史 (西欧諸国形成史)	1前	2			○								兼1
	西洋・中東史 (西洋史 (イギリス近代史))	1前	2			○			1					
	中国・朝鮮半島史 (中国史)	1後	2			○								兼1
	中国・朝鮮半島史 (朝鮮・韓国の文化と日本との交流史)	1後	2			○								兼1
	世界近現代史 (アメリカ概論)	1前	2			○								兼1
	世界近現代史 (ドイツ文化史)	1後	2			○								兼1
	世界近現代史 (現代国際関係史)	1前	2			○								兼1
	日本史 (日本の歴史)	1後	2			○								兼1
	日本近世史 (近世都市史)	1前	2			○								兼1
	日本近世史 (近世文化史)	1後	2			○								兼1
	日本近現代史 (近現代日本の政治と国家主義運動)	1後	2			○								兼1
	日本近現代史 (近現代日本における女性)	1前	2			○								兼1
	民俗学・人類学 (人類学入門)	1後	2			○								兼1
	文学 (文学とジェンダー：世界の文学に見る女性像)	1前	2			○								兼1
	文学 (文学とは何か)	1前	2			○								兼1
	外国文学 (西洋文学論)	1後	2			○								兼1
	外国文学 (三國志時代の文学)	1後	2			○				1				
	外国文学 (朝鮮・韓国の神話・文学・伝統芸能)	1前	2			○								兼1
	外国文学 (ロシア革命と文学)	1後	2			○								兼1
	日本文学 (近世文学の世界)	1後	2			○								兼1
	日本文学 (日本現代小説の魅力)	1後	2			○								兼1
	言語学入門 (日本語学入門)	1前・後	2			○								兼1
	言語学 (フランス語論)	1前	2			○								兼1
	言語学 (児童の文章表現)	1後	2			○		1						
	言語学 (言語地理学)	1前	2			○		1						
	日本語表現論 (劇作における会話表現)	1前	2			○								兼1
	日本語表現論 (日本語口語表現)	1前・後	2			○								兼1
	心理学入門 (心理学概論)	1前	2			○		2	3					オムニバス
	心理学 (幼児発達支援入門)	1後	2			○								兼1
	心理学実験・調査法	1前	2			○								兼1
	西洋文化論 (ロシア人の生活と言語)	1前	2			○								兼2
	西洋文化論 (ロシアの自然と言語)	1後	2			○								兼2
	西洋文化論 (西洋建築史)	1後	2			○			1					
	日本文化論 (日本語文化論：国語教育史)	1前	2			○		1						
	日本文化論 (衣生活文化史)	1前	2			○		1						
	日本文化論 (金属で学ぶ日本文化史)	1前	2			○			1					
	現代文化論 (現代の文化研究)	1後	2			○								兼5
	現代文化論 (科学技術と人間社会)	1前	2			○								兼2
	異文化論 (通過儀礼(人の一生)に見る世界の諸地域)	1後	2			○								兼1
	美術論 (美術史)	1前	2			○		1						
	美術論 (デザイン論)	1前	2			○		1						
	音楽論 (音楽への誘い)	1後	2			○		1						
	音楽論 (音楽芸能文化概論)	1後	2			○			1					
	音楽論 (ドイツ歌曲への誘い)	1前	2			○			1					
	音楽論 (オーケストラ歌曲を聴く)	1前	2			○			1					
	音楽論 (ピアノ基礎 (連弾))	1後	2			○			1					
	音楽論 (実用作曲法)	1前	2			○			1					
社会 科学	法学入門 (法とは何か)	1前	2			○								兼1
	法学入門 (立法体験：まちづくり条例制定の体験)	1前	2			○								兼1
	日本国憲法 (憲法)	1前	2			○								兼1
	日本国憲法 (教職のための憲法)	1後	2			○			1					
	日本国憲法 (統治機構論)	1後	2			○								兼1
	経済学入門 (現代の日本経済)	1前	2			○				1				
	経済学入門 (社会における経済の仕組み)	1前	2			○								兼1
	地理学入門	1前	2			○								兼1
	民事法 (家族生活と法)	1前	2			○								兼1
	民事法 (財産と法)	1後	2			○								兼1
社会法 (労働と法)	1後	2			○								兼1	

	社会学 (福祉と法)	1後	2	○								兼1	
	ジェンダー法 (ジェンダーと法)	1前	2	○								兼2	集中
	裁判法 (指紋と裁判)	1後	2	○								兼1	
	刑事法 (犯罪と刑罰について)	1後	2	○								兼1	
	国際法 (国際社会の法)	1前	2	○			1						
	国際法 (国際法入門)	1後	2	○								兼1	
	知的財産権法 (知的財産権法入門)	1前	2	○								兼3	
	政治学入門 (政治とは何か)	1後	2	○								兼1	
	現代政治論 (現代日本の政治)	1前	2	○								兼1	
	現代政治論 (日本の政治と世界)	1後	2	○								兼1	
	現代政治論 (日本人と国際社会)	1前	2	○								兼1	
	現代政治論 (近代日本の政治と行政)	1後	2	○								兼1	
	現代政治論 (政治理論と現代日本の政治)	1後	2	○								兼1	
	平和学 (戦争の被害と加害、そして抵抗)	1前	2	○								兼1	
	平和学 (国際平和学)	1前	2	○			1						
	平和学 (戦争と平和の法制度)	1後	2	○								兼1	
	経済学入門 (社会における経済の仕組み)	1前	2	○								兼1	
	経済学入門 (現代の日本経済)	1前	2	○								兼1	
	経済学史 (日本経済論)	1後	2	○								兼1	
	財政学 (行財政制度の改革と住民)	1前	2	○								兼1	
	マクロ経済学 (銀行論・金融政策論)	1前	2	○								兼1	
	ミクロ経済学 (生活の経済と法律)	1前	2	○			1						
	ミクロ経済学 (交通経済学)	1前	2	○							1		
	経営学入門 (経営学とは何か)	1前	2	○								兼1	
	マネージメント論 (マーケティング論入門)	1後	2	○								兼1	
	社会学入門 (社会階層論)	1前	2	○								兼1	
	現代社会論 (少子高齢化社会)	1前	2	○								兼1	
	現代社会論 (現代を生きる家族)	1前	2	○								兼7	オムニバス
	現代社会論 (社会の基盤)	1後	2	○								兼6	オムニバス
	現代社会論 (Amish のライフスタイルから現代 社会を考える)	1後	2	○			1						
	現代社会論 (やさしいジェンダー学入門)	1後	2	○								兼1	
	メディア論 (メディアの特徴・歴史・現状・課題)	1前	2	○								兼1	
	メディア論 (メディア論の基礎)	1前	2	○								兼1	
	メディア論 (国際メディア論)	1後	2	○								兼1	
	広報・PR論入門 (岐阜大学をケーススタディに)	1前	2	○			1					兼3	オムニバス
	地理学入門 (日本の地理入門)	1前	2	○								兼1	
	地理学 (地図・環境・立地・都市)	1前	2	○			1						
	地理学 (人間と社会)	1後	2	○								兼1	
	地理学 (都市論)	1前	2	○								兼1	
	地域論 (地域経済と中小企業)	1前	2	○								兼1	
	教育論 (現代社会問題と教育)	1前	2	○								兼1	
	教育論 (障害児教育臨床学)	1前	2	○								兼1	
	教育論 (障害学への招待)	1前	2	○			1						
	教育論 (教育哲学)	1前	2	○								兼1	
	教育論 (学校の社会的意味を問う)	1後	2	○								兼1	
	教育論 (環境教育入門)	1後	2	○			1						
	教育論 (岐阜大学の歴史と高等教育論)	1後	2	○								兼1	
	社会総合 (環境、CSR (企業の社会的責任)とマネジメント)	1前	2	○								兼1	集中
	社会総合 (社会科学入門 (やさしい現代社会論))	1後	2	○			1					兼2	
自然科学 科目 目録	教養の数学 (数学概論 I (実数と数列))	1後	2	○						1			
	教養の数学 (コンピュータのための数学概論)	1前	2	○								兼1	
	教養の数学 (図学)	1後	2	○								兼1	
	基礎代数学 (古典数学へのいざない)	1前	2	○								兼1	
	基礎代数学 (数学概論II)	1後	2	○								兼2	オムニバス
	基礎解析学 (解析学の基礎)	1前	2	○								兼1	
	基礎解析学 (微分積分学)	1後	2	○				1					
	基礎統計学 (統計学の基礎)	1後	2	○								兼1	
	物理学入門 (現代物理学の基礎 (相対論と量子論入門))	1前	2	○								兼1	
	物理学入門 (身のまわりの物理学)	1前	2	○								兼1	
	教養の物理学 (雷の科学)	1前	2	○								兼1	
	教養の物理学 (日曜大工からはじめる力学)	1前	2	○								兼1	
	教養の物理学 (現代の視点から、古典に学ぶ (物理系))	1後	2	○								兼4	オムニバス
	教養の物理学 (物理学の基礎)	1後	2	○								兼1	
	教養の物理学 (物性の力学)	1後	2	○								兼2	
	教養の物理学 (力学現象の数学的見方)	1後	2	○								兼1	
	現代物理学 (現代物理学概論)	1後	2	○								兼1	
	化学入門 (身近なものから学ぶ化学)	1前	2	○								兼1	
	化学入門 (日常生活でよく見る化学現象や化学製品を学ぶ)	1前	2	○								兼1	
	教養の化学 (有機化学概論)	1前	2	○								兼2	
	教養の化学 (化学結合と反応のしくみ)	1前	2	○								兼1	
	教養の化学 (化学概論)	1後	2	○								兼2	
	教養の化学 (コロイド及び高分子化学概論)	1後	2	○								兼1	
	教養の化学 (現代の視点から、古典に学ぶ (化学系))	1後	2	○				1				兼6	
	教養の化学 (有機化合物を分子模型で探る)	1後	2	○								兼1	
	現代化学 (フラスチック材料の基礎)	1前	2	○								兼1	
	現代化学 (ソフトマター)	1後	2	○								兼3	
	生物学入門 (現代生物学入門)	1前	2	○								兼3	オムニバス
	生物学入門 (微生物と病気)	1前	2	○								兼1	
	教養の生物学 (生命の仕組み)	1前	2	○								兼4	オムニバス
	教養の生物学 (分子から地球レベルの光合成)	1前	2	○								兼1	
	教養の生物学 (動物と病気)	1後	2	○								兼3	オムニバス

	教養の生物学（ヒトのからだ）	1後	2	○								兼4		
	現代生物学（生き物よもやま話）	1後	2	○								兼8		
	現代生物学（葉の細胞生物学）	1後	2	○								兼1		
	教養の医学（人体生理学基礎）	1後	2	○								兼3		
	現代医学（生体防御・腫瘍病理基礎）	1後	2	○								兼6		
	宇宙地球科学入門（天文学への招待）	1後	2	○								兼1		
	教養の宇宙地球科学（気象学概論）	1前	2	○								兼2		
	教養の宇宙地球科学（地球環境の変遷）	1後	2	○								兼1		
	教養の宇宙地球科学（ESD入門）	1前	2	○					1			兼1		
	教養の環境学（自然災害と生活）	1後	2	○								兼2		
	教養の環境学（生物の多様性と人間社会）	1前	2	○								兼5	オムニバス	
	教養の環境学（土の物理的環境）	1前	2	○								兼2		
	教養の環境学（生物生産と環境）	1後	2	○								兼3		
	現代環境学（エネルギー問題）	1前	2	○								兼1		
	現代環境学（生物多様性を支える森林と動物たち）	1前	2	○								兼5		
	現代環境学（人の営みと環境）	1後	2	○								兼4		
	現代環境学（世界の食料と人口問題）	1前	2	○								兼5	オムニバス	
	現代環境学（ESD実践研究）	1後	2	○								兼4		
	自然科学総合（化学と生物のインターフェース）	1後	2	○								兼5	オムニバス	
	自然科学総合（医学・生物学のための量子サイエンス）	1後	2	○								兼1		
	自然科学総合（科学的なもの考え方）	1前	2	○					1			兼1		
	自然科学総合（情報・通信の基礎）	1後	2	○								兼1		
	自然科学総合（数値シミュレーション入門）	1前	2	○								兼1		
	自然科学総合（ものの科学）	1後	2	○								兼1		
	自然科学実験講座（理科実験法講座）	1前	2	○								兼5	集中	
	自然科学実験講座（ご飯までのフィールド科学）	1前	2	○								兼4		
	自然科学実験講座（家畜たちのフィールド科学）	1前	2	○								兼1		
	自然科学実験講座（森と川のフィールド科学）	1前	2	○								兼2		
	情報学入門（ITの歴史と未来）	1前	2	○								兼1		
	情報学入門（経営のためのオペレーションズ・リサーチ）	1前	2	○								兼1		
	教養の情報学（オペレーションズ・リサーチにおけるモデリング）	1後	2	○								兼1		
	教養の情報学（情報と物理）	1後	2	○								兼2		
	教養の情報学（データサイエンス入門）	1後	2	○								兼1		
複合領域科目群	社会の中の看護	1後	2	○								兼5	オムニバス	
	食の教養	1前・後	2	○								兼1		
	栄養と運動	1後	2	○					1					
	交通安全の科学	1前	2	○						1		兼5		
	医療と生命	1前	2	○								兼2		
	医学史	1前	2	○								兼11	オムニバス	
	健康とQOL	1前	2	○								兼5		
	身近な薬と毒の科学	1後	2	○								兼2		
	世界の農業事情	1後	2	○								兼5	オムニバス	
	生物共生論	1前	2	○								兼3		
	現代医療の最前線	1前	2	○								兼14	オムニバス	
	環境マネジメントと環境経営	1前・後	2	○								兼6	オムニバス	
	免疫学	1前	2	○								兼1		
	森と美術	1後	2	○								兼1		
	岐阜県の生物の分布と生態	1後	2	○					2		1	兼4		
	現代のまちづくりと住民	1後	2	○						2		兼4		
	岐阜大学の教育研究と運営	1前	2	○						3		兼14	オムニバス	
	岐阜の自然（地質・活断層と水環境）	1前	2	○								兼3	オムニバス	
	岐阜県の農産物の生産・流通・消費	1後	2	○								兼1		
	岐阜県誌：岐阜県の歴史・文化・自然	1前	2	○							1	兼3		
	岐阜の自然と都市，そこに生きる生き物と人	1前	2	○								兼3		
	岐阜県の食構造	1前	2	○								兼1		
	フューチャーセンター入門	1前・後	2	○								兼3		
	フューチャーセンター実践Ⅰ	1前	2	○								兼3	集中	
	フューチャーセンター実践Ⅱ	1後	2	○								兼3	集中	
	岐阜県の方言	1前	2	○						1				
	人と自然との関わりから見た岐阜	1前	2	○								兼3		
	人と自然の関わりから見た岐阜（実践）	1後	2	○								兼3		
	外国語と地域の方言	1前	2	○								兼1		
	岐阜の産業：地域で活躍する企業と人	1前	2	○								兼2		
	岐阜の伝統産業：陶磁器，刃物，石灰，紙，繊維	1後	2	○								兼5		
	地域産業と企業戦略入門：岐阜の企業を知る	1前・後	2	○								兼5		
	岐阜にまつわる東洋史	1前	2	○								兼1		
	地域資源の活用と観光デザイン	1前	2	○								兼5		
	地域防災リーダー基礎	1前・後	2	○								兼4	オムニバス	
	地域防災リーダー実践Ⅰ	1前・後	2	○								兼4	オムニバス	
	地域防災リーダー実践Ⅱ	1前・後	2	○								兼4	オムニバス	
	ワーク・ライフ・バランス（男女共同参画論）	1後	2	○								兼1		
	学びをデザインする	1後	2	○								兼1		
	ひろがる学び，つながる学び	1前	2	○								兼1		
	高年次教養セミナーⅠ	1前・後	2	○						2		兼4		
	高年次教養セミナーⅡ	1前・後	2	○							1	兼4		
自分らしいキャリア設計Ⅰ	1前・後	2	○								兼5			
自分らしいキャリア設計Ⅱ	1前・後	2	○								兼5			
現代社会を支える企業	1後	2	○								兼1			
生活と金融・人生設計と資産形成	1後	2	○								兼1			
地域協働型インターンシップ	1前・後	2	○								兼6	集中		
自治体協働型インターンシップ	1前・後	2	○								兼6	集中		

		産業協働型インターンシップ I	1前	2		○												兼6	集中
		社会の多様な働き方	1前	2		○												兼1	
		キャリア形成論	1前・後	2		○												兼1	
		ライフコース論 (人生設計と生活保障)	1後	2		○												兼1	
		プロジェクト型インターンシップ	1後	2		○												兼4	
		現代社会とボランティア・地域活動	1前・後	2		○												兼4	
		自己省察と将来のキャリア設計	1前・後	2		○												兼8	
		イノベーション型インターンシップ I	1前	2		○												兼6	
		イノベーション型インターンシップ II	1後	2		○												兼6	
		地域リーダー実践 (上級) I	1前	2		○												兼6	
		地域リーダー実践 (上級) II	1後	2		○												兼6	
		産業リーダー実践	1前・後	2		○												兼6	
	英語	英語 1	1前	1		○						1						兼6	
		英語 2	1前	1		○								1				兼6	
		英語 3	1後	1		○						1						兼6	
		英語 4	1後	1		○							1					兼6	
	第二外国語	ドイツ語 I	1前	1		○												兼7	
		ドイツ語 II	1後	1		○												兼7	
		フランス語 I	1前	1		○												兼4	
		フランス語 II	1後	1		○						1						兼3	
		ポルトガル語 I	1前	1		○												兼1	
		ポルトガル語 II	1後	1		○												兼1	
		中国語 I	1前	1		○												兼6	
		中国語 II	1後	1		○												兼6	
		朝鮮・韓国語 I	1前	1		○												兼1	
		朝鮮・韓国語 II	1後	1		○												兼1	
	スポーツ・健康科学	健康科学 (運動・栄養・休養と健康)	1前	2		○												兼5	オムニバス
		健康科学	1後	2		○												兼9	オムニバス
		スポーツコンディショニング	1後	2		○												兼1	
		剣道 I	1前	2						○		1							
		ヨガ・エアロビクス	1前	2						○		1							
		トレーニング	1後	2						○		1							
		ハンドボール	1前	2						○		1							
		新卓球 (ラージボール)	1後	2						○								兼1	
		ファストピッチ・ソフトボール (ウインドミル投法入門)	1前	2						○								兼1	
		卓球・水泳	1前	2						○								兼2	
		バドミントンA I	1前・後	2						○								兼3	
		女子サッカーA	1前	2						○								兼1	
		女子サッカーB	1後	2						○								兼1	
		サッカー	1前・後	2						○								兼1	
		卓球	1前・後	2						○								兼3	
		ボールゲームⅢ	1後	2						○								兼1	
		バレーボールA	1前	2						○								兼1	
		テニス I	1前	2						○								兼1	
		テニス II	1後	2						○								兼1	
		バスケットボールA	1前・後	2						○								兼1	
		ソフトボール B I	1前	2						○								兼1	
		アダブテッドスポーツ	1前	2						○								兼1	
		フットサル	1後	2						○								兼1	
		小計 (281科目)		6	540	0						38	39	0	6	0		兼240	
学部開講科目	教養科目	教養基礎	情報教育	1前	2		○					2	3					兼1	クラス分け
			人権	1後	2		○					3	5		1			兼3	オムニバス
			外国語コミュニケーション (英語)	2前・後	2		○					1	2		2			兼2	クラス分け
			外国語コミュニケーション (ドイツ語)	2前	2		○					1						兼1	
			外国語コミュニケーション (フランス語)	2前	2		○					1							
			外国語コミュニケーション (中国語)	2前	2		○											兼1	
			外国語コミュニケーション (ポルトガル語)	2前	2		○					1						兼1	共同
			外国語コミュニケーション (朝鮮・韓国語)	2前	2		○					1						兼1	共同
専攻科目	専攻科目	国語教育	国語学概論	1後	2		○					1							
			音声言語・文章表現論	3後	2		○					1							
			国語学各論 I	2前	2		○					1							
			国語学各論 II	2後	2		○					1							
			国語学各論 III	3前	2		○					1							
			国語学各論 IV	3後	2		○					1							
			国語学研究	3後	1							2							
			国語学演習 I	4前	2			○				2							
			国語学演習 II	4後	2			○				2							
			国文学概論	1後	2			○						1					
			国文学史	2前	2			○						1					
			国文学各論 I	3前	2			○						1					
			国文学各論 II	1・2・3・4後	2			○						1					隔年
			国文学研究	3後	1					○				1					
			国文学演習 I	4前	2					○				1					
			国文学演習 II	4後	2					○				1					
			漢文学概論	2前	2			○						1					
			漢文学各論 I	2後	2			○						1					
			漢文学各論 II	3前	2			○						1					
			漢文学研究	3後	1					○				1					
			漢文学演習 I	4前	2					○				1					
			漢文学演習 II	4後	2					○				1					
			書道	1前	1						○			1					
			国語科教育学研究	3後	1						○			2					オムニバス





美術教育	基礎絵画Ⅰ	1前	1				○	1					兼1	共同
	基礎絵画Ⅱ	1後	1				○	1					兼1	共同
	絵画Ⅰ	2前	2				○	1	1				兼2	共同
	絵画Ⅱ	3前	2				○	1					兼1	共同
	絵画Ⅲ	3後	1				○	1					兼1	共同
	基礎彫塑Ⅰ	1前	1				○	1						
	基礎彫塑Ⅱ	1後	1				○	1						
	彫塑Ⅰ	2後	2				○	1						
	彫塑Ⅱ	3前	2				○	1						
	彫塑Ⅲ	3後	1				○	1						
	基礎デザインⅠ	1前	1				○	1						
	基礎デザインⅡ	1後	1				○	1						
	視覚デザインⅠ	2後	2				○	1						
	視覚デザインⅡ	3前	2				○	1						
	視覚デザインⅢ	3後	1				○	1						
	基礎工芸Ⅰ	1前	1				○		1					
	基礎工芸Ⅱ	1後	1				○		1					
	工芸Ⅰ	2前	2				○		1					
	工芸Ⅱ	3前	2				○		1					
	工芸Ⅲ	3後	1				○		1					
	陶芸	3前	1				○							兼1
	西洋美術史	2前	2			○		1						隔年
	日本美術史	2後	2			○		1						隔年
	美術教育実践教材論	2・3後	2			○		1						集中
	美術教育論研究	3後	2			○								兼1
	美術教育論演習	4前	1				○	3	1					
	美術制作演習	4後	1				○	3	1					
保健体育	陸上	2前	1				○			1				
	水泳	1前	1				○	1						
	体づくり・器械運動	1前	1				○	1						
	ダンス	2後	1				○	1						
	柔道	1・2後	1				○						兼1	隔年
	剣道	1後	1				○	1						
	バスケットボール	3・4前	1				○						兼1	隔年
	バレーボール	1・2後	1				○						兼1	隔年
	ハンドボール	1・2後	1				○	1						隔年
	サッカー	3・4前	1				○		1					
	野外運動（スキー）	1・2後	1				○		1		1			隔年、集中
	野外運動（キャンプ）	1・2前	1				○	1	1		1			隔年、集中
	体育原理	1・2後	2			○							兼1	隔年、集中
	体育社会学	4前	2			○		1						
	体育経営管理学	4前	2			○		1					兼1	共同
	体育心理学	1・2前	2			○							兼1	隔年
	運動学（運動方法学を含む）	3前	2			○		1						
	生理学（解剖学・運動生理学を含む）	2前	2			○			1					
	運動生理学	2後	2			○			1					
	衛生学・公衆衛生学	3後	2			○		1						
	学校保健Ⅰ（小児保健・精神保健を含む）	3後	2			○		1						
	学校保健Ⅱ（学校安全・救急処置を含む）	4前	2			○		1						
	保健体育演習Ⅰ	4前	1				○	5		1	1			
保健体育演習Ⅱ	4後	1				○	5		1	1				
技術教育	木材加工学	1後	2		○			1						
	木材加工学及び実習	2後	1				○	1	1					共同
	木材利用	4前	2		○			1						
	木材加工学演習Ⅰ	4前	1			○		1						
	木材加工学演習Ⅱ	4後	1			○		1						
	金属加工学	1前	2		○				1					
	金属加工学及び実習	2後	1				○	1	1				共同	
	金属加工学及び実験	4前	1				○		2				共同	
	金属加工学演習Ⅰ	4前	1			○		1						
	金属加工学演習Ⅱ	4後	1			○		1						
	機械工学	2前	2		○			1						
	機械工学及び実習	3後	1				○	1	1				共同	
	材料力学	1後	2		○				1					
	機械工学演習Ⅰ	4前	1			○		1						
	機械工学演習Ⅱ	4後	1			○		1						
	電気電子工学及び実習	2後	1				○			2			共同	
	電気電子工学	2前	2		○				1					
	電子回路	3後	2		○				1					
	電気電子工学及び実験	4前	1				○		2				共同	
	電気電子工学演習Ⅰ	4前	1			○			1					
	電気電子工学演習Ⅱ	4後	1			○			1					
	栽培学及び実習	3前	1				○						兼1	
	情報工学	1後	2		○				1					
情報工学及び実習	2後	1				○		2				共同		
情報工学演習Ⅰ	4前	1			○			1						
情報工学演習Ⅱ	4後	1			○			1						
職業指導	4前	2		○				1				兼1	共同	
家政教育	家族関係学	1後	2		○			1						
	家庭経済学	2前	2		○			1						
	家庭経営学	3後	2		○			1						

	家庭経営学演習Ⅰ	4前	2			○		1												
	家庭経営学演習Ⅱ	4後	2			○		1												
	被服科学	1・2前	2			○						1					兼1	隔年、共同		
	被服構成・実習Ⅰ	1後	1					○		1										
	食品学概論	1後	2			○						1								
	栄養学	2前	2			○				1										
	食生活演習	1前	1					○		1										
	食品栄養実験	2後	1							○		1								
	食品栄養学及び実験Ⅰ	4前	1							○		1								
	食品栄養学及び実験Ⅱ	4後	1							○		1								
	調理学実習法及び調理実習	2前	1							○										
	調理学演習及び調理実験・実習Ⅰ	4前	1							○										
	調理学演習及び調理実験・実習Ⅱ	4後	1							○										
	住居学概論	1前	2			○						1								
	住居設計製図	1後	1			○						1								
	住生活問題Ⅰ	4前	1			○						1								
	住生活問題Ⅱ	4後	1			○						1								
	保育学（家庭看護学を含む）	2後	2			○						1								
	保育実習	3前	1							○		1								
	家庭電気機械	3後	2			○						1								
英語教育	英語学概論Ⅰ	2前	2			○														
	英語学概論Ⅱ	2後	2			○														
	英語学各論	3前	2			○														
	英語文学概論Ⅰ	2前	2			○														
	英語文学概論Ⅱ	2後	2			○														
	英語文学各論	3前	2			○														
	英語コミュニケーションⅠ	2前	2			○				1										
	英語コミュニケーションⅡ	2後	2			○														
	異文化理解Ⅰ	1後	2			○							1							
	異文化理解Ⅱ	3前	2			○							1							
	英語教育セミナーⅠ	3前	1					○		1	3			2						
	英語教育セミナーⅡ	3後	1					○		1	3			2						
	英語教育セミナーⅢ	4前	1					○		1	3			2						
	英語教育セミナーⅣ	4後	1					○		1	3			2						
	コミュニケーション活動の指導技術	2・3・4前	2			○												兼1	隔年	
	外国語体験活動	2・3・4前	2			○												兼1	隔年	
	総合文化海外実習（ノーザンケンタッキー大学）	1・2・3・4前	3					○		1								兼1	集中	
学校教育 心理学	感情・人格心理学	1前	2			○				1										
	社会・集団・家族心理学	1前	2			○						1								
	心理学概論	1後	2			○				1										
	臨床心理学概論	2前	2			○						1								
	心理学統計法	2前	2			○						1								
	公認心理師の職責	2前	2			○				3	2								兼1	
	発達心理学	2前	2			○														
	障害者・障害児心理学	2後	2			○				1										
	心理学研究法	2後	2			○						1								
	司法・犯罪心理学	2後	2			○				1										
	学習・言語心理学	2後	2			○						1								
	知覚・認知心理学	3前	2			○						1								
	心理学実験Ⅰ	3前	2			○				2									共同	
	心理学実験Ⅱ	3後	2			○				1	1								共同	
	神経・生理心理学	3前	2			○						1								
	心理学的支援法	3前	2			○				1										
	異常心理学（精神疾患とその治療）	3前	2			○				1										
	健康・医療心理学	3後	2			○				1										
	福祉心理学	3後	1			○						1								
	産業・組織心理学	3後	1			○						1								
	人体の構造と機能及び疾病	3前	2			○				1									兼1	
	関係行政論（公認心理師と法）	3後	1			○				1										
	心理実習Ⅰ	3後	1						○	3	2								共同	
	心理実習Ⅱ	4前	1						○	3	2								共同	
	心理的アセスメント	4前	2									1								
	心理演習	4前	2						○			2							共同	
	教職基礎	現代教育学の基礎研究	1前	2			○					1								
		教授設計入門	2前	2			○					1								
		幼児教育学	3前	2			○				1									
		教職基礎セミナーⅠ	4前	1					○		3	2								
教職基礎セミナーⅡ		4後	1					○		3	2									
教育社会学		2後	2			○								1						
デジタル教材開発（ウェブデザイン）		2後	2			○								1						
教育工学		1後	2			○				1										
幼児指導法		2前	2			○				1									兼1	
教授学習過程論		3前	2			○				1										
西洋精神史		2後	2			○				1										
異文化理解論（西洋文化史）		2前	2			○				1										
視覚文化論		1後	2			○				1										
特別支援教育	特別支援教育総論	1前	3			○													兼1	
	特別支援教育演習Ⅰ（特別支援教育基礎）	1後	1					○											兼1	
	特別支援教育演習Ⅱ（療育観察法）	2前	1					○			1								集中	
	特別支援教育演習Ⅲ（特別支援学校における発達検査法）	2後	1					○			1								共同	
	特別支援教育演習Ⅳ（特別支援教育学）	3後	1					○			1									







(履修方法)

履修単位基準

区分	学校教育教員養成課程			
	小一 種 中一 種	小一 種 中二 種	小一 種 幼二 種	小一 種 特支 一 種
教 養 科 目	36			
専 門 科 目	98	88	90	93
自 由 選 択 科 目	1	11	9	6
合 計	135	135	135	135

※ 教養科目で36単位を超えた単位数については4単位まで自由選択科目に算入することができる。

教養科目

初年次セミナー	2単位	必修	
人文科学	18単位 (社会科学科目のうち日本国憲法は必修)		
社会科学			
自然科学			
複合領域			
スポーツ・健康科学	2単位		
外国語科目	6単位		
自由選択科目	2単位		
学 部 開 講 科 目	情報教育	2単位	必修
	人権	2単位	必修
	外国語コミュニケーション(英語)	2単位	1言語以上必修
	外国語コミュニケーション(ドイツ語)	2単位	
	外国語コミュニケーション(フランス語)	2単位	
	外国語コミュニケーション(中国語)	2単位	
	外国語コミュニケーション(ポルトガル語)	2単位	
	外国語コミュニケーション(朝鮮・韓国語)	2単位	
学部開講科目合計	8単位以上		
合計	36単位以上		

授 業 科 目 の 概 要			
(大学院教育学研究科教育臨床心理学専攻)			
科目区分	授業科目の名称	講義等の内容	備考
必修科目	学校臨床心理学研究(教育分野に関する理論と支援の展開)	学校臨床心理学について、特に学校心理学的アプローチをもとに検討、議論を行う。具体的には、学校心理学的アプローチの考え方、援助サービスモデル、学校心理士の活動と倫理などについて概説する。あわせて、発達障害のある子どもなどを中心とし、その子どもの所属する学校の教師、保護者の理解と援助、学級の集団作りなどに論点を広げながら、学校心理学の視点から、具体的に検討する。	
必修科目	附属学校実践演習Ⅰ	スクールカウンセリングの事例に基づいて、小学校、中学校それぞれの問題と課題を整理し、実際のスクールカウンセリングのあり方を学ぶ。また、附属小中学校の授業等を参観し、気になる児童生徒についての個別支援計画を作成し、現場の教師らとともに作成された計画の実効性を検討する。	共同
必修科目	附属学校実践演習Ⅱ	附属小中学校における課外活動に参加することで児童生徒と接し、潜在的支援のニーズをアセスメントする能力を身につける。また、実際に問題のあるとされる児童生徒に関しては、教師らとともに協議し、具体的な支援策について検討する。	共同
専門科目	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	精神医学の基礎を踏まえた上で、各発達段階における各種精神疾患の諸特徴を概説し、疾病分類の方法ならびにその問題点を論じる。また、児童精神医学の領域にも焦点を当て、成人と子どもにおける精神病理の現れ方・対処法の異同について解説する。教育相談・カウンセリング(心理療法)を実践するために必須の精神医学的知識を修得する。	
専門科目	発達心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	発達心理学のさまざまな理論に基づき、乳幼児期から学童期、思春期、青年期にかけての、認知・思考、社会性、自己理解、言語の発達について概観する。その上で、特に発達障害、その中でも自閉スペクトラム症児の社会性と自己理解に焦点をあて、具体的な事例の提示、分析などをふまえながら、そのユニークな発達の在り方の理解と支援の様相について考察する。その際、実際の実践記録なども積極的に活用する。	
専門科目	学校臨床心理学特論Ⅰ(教育分野に関する理論と支援の展開)	学校で生じている多様な問題の中から、特に、いじめやネット問題に関する理論や国内外の研究をふまえ、多様な予防教育や支援の展開について、「感情の問題」「公平の問題」についての議論展開を促す。	隔年
専門科目	学校臨床心理学特論Ⅱ(教育分野に関する理論と支援の展開)	学校コミュニティにおける臨床心理的援助活動は、個別相談活動、コンサルテーション、心理教育プログラム、危機介入・緊急対応、システム構築(校内外の組織体制作り)の5本の柱に整理される。本講義では、学校や地域などのコミュニティの中で心理臨床的活動を行う際に基盤となるモデルや臨床家のスタンスの基礎的な理解と実践力をグループワークやロールプレイ等を交え養成する。	隔年
専門科目	非行・犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	司法心理学ならびに犯罪心理学における諸問題を、内外の文献を参照しつつ、具体的な事例ないし実践を通して理解の深化ならびに技能の修得を目指す。また、司法面接の特徴を、臨床面接と比較しつつ学び、ロールプレイ等を通してその修得を目指す。	
専門科目	産業・組織心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	本講義では、主に産業・労働分野における心の健康・心理学的問題(うつなど)に対する支援について学ぶ。その支援を支える産業・労働分野における法令や指針、多職種連携などについて理解し、職場における心理学的問題のアセスメントやその支援、ストレスによる精神疾患やそれに伴う問題(自殺など)の予防対策、復職支援について、これらの支援でよく用いられている認知行動療法の理論と技法を含めながら学ぶ。	隔年

専門科目	臨床心理査定演習Ⅰ（心理学的アセスメントに関する理論と実践）	心理学的アセスメントの実際の側面を、内外の文献を含め概観する。さらに、初回面接における留意点や行動観察における臨床的視点を学ぶ。加えて、質問紙法を中心にその特徴、分析法、解釈について、投影法など他の検査の特徴と比較しつつ学修する。	
専門科目	臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）	心理実践家として活動していくための基本的な態度を学ぶ講義である。力動論・認知論などを中心に様々な心理支援の方法を学んでいくが、主な主眼は観察・傾聴・言語的介入などの基本的な面接態度や技法を習熟することである。特に要支援者を尊重し、歓待するような態度とはどのようなものかについて学んでいく。	
専門科目	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）	心理職の業務では学校現場や地域等における、児童・生徒、保護者、地域住民の心理的問題に対して、適切な見立てを行い、多職種とその見立てを共有し、介入していくことが求められる。本講義では、主に家族や、地域社会、集団・組織等で起こりうる問題事例を取り上げ、ケース・フォーミュレーションを行いながら、心理学的援助の見立てと介入を体験的に学習する。	
専門科目	教育心理学特論（心の健康教育に関する理論と実践）	講義にて「特別な支援を要する児童生徒への心的支援の在り方を理解すること」を目的とする。授業計画としては、心理職（スクールカウンセラー）としての学校勤務のなかでその対応が長期に、かつ、他職種との連携となることが少なくない特別支援学校、特別支援学級、通級による指導に籍を置く児童生徒の心理的特徴を概括する。そして、その心的支援について教育職や福祉職、医療職との連携について、特別支援学校や特別支援学級の実地見聞も行い、その在り方を議論する。	
専門科目	相談室実習Ⅰ（心理実践実習）	附属相談施設において、実際の相談ケースへの臨床実践に携わりながら、児童・生徒・成人・保護者・教師等の抱える問題に対応するカウンセリング能力を修得する。	共同
専門科目	相談室実習Ⅱ（心理実践実習）	附属相談施設において、実際の相談ケースへの臨床実践に携わりながら、カウンセリング能力を修得するとともに、客観的に自身の実践活動を評価し、それらを発表するスキルを修得することを目指す。	共同
専門科目	学外機関実習Ⅰ（心理実践実習）	附属病院精神神経科外来において初診陪席を行い、各種疾患の正しい知識の修得ならびに面接におけるアセスメント・スキルの修得を目指す。また、その所見をまとめることとディスカッションにおよそ各1時間を充て、実習体験の理解を深める。	共同
専門科目	学外機関実習Ⅱ（心理実践実習）	医療保健、教育／福祉、産業の各領域における心理支援職の特質を体系的実践活動の中で理解し、当該領域における心理支援の技能を修得する。また、心理支援職の各領域の特質を理解するとともに、個別支援ならびにチームによる支援・地域支援の技能を修得する。実習施設：単科精神病院、県児童相談所、県教育センター、県障がい者就業・生活支援センター等	共同
自由科目	臨床心理学特論Ⅰ	臨床心理学の歴史を背景としつつ、隣接諸科学との関連性に触れながら、現代の臨床心理学の特質と課題を概観する。また、実践の学としての方法論を整理し、実際のケースを参考にしつつ各臨床心理学的支援アプローチの特徴を学修する。	
自由科目	臨床心理学特論Ⅱ	臨床心理学について、特に子どもと障害、それを取り巻く学校、家族に焦点を当てながら、専門家として何を大切にしていくことが大切なのかについて検討する。具体的な事例、実践報告などの検討を行いながら、発達臨床的アプローチからの検討を深めることとする。	

自由科目	臨床心理面接特論Ⅱ	臨床心理学はクライアントの力になるための知見の集積であるが、クライアントのニーズに愚直に従えば上手くいくというわけではなく、どのような面接を提供していけばよいのかについての専門的なアセスメント(見立て)が必要である。この講義では、個人心理療法の中で行う見立ての力を養うと同時に、どのような面接構造を提供することが役に立つかの実践的な理解の修得を目指す。そのためには自身が提供する面接技法について精通することが不可欠である。	
自由科目	臨床心理査定演習Ⅱ	投影法(特に、ロールシャッハ法)を中心に、対象ごとの実施上の留意点、分析法、解釈、レポート作成について学ぶ。また、各種表現療法としての描画法を取り上げ、アセスメントと支援の関連についても学修する。	
自由科目	臨床心理基礎実習Ⅰ	心理臨床活動に必要な基本的姿勢を修得することを目的とする。そのために、自分が担当したケースについてレポートを作成しカンファレンスを実施すること、そのカンファレンスに参加し他者が担当したケースについて検討すること、心理教育相談室の運営について学習を行ったうえで習熟・実践を行うことなどを実施する。	共同
自由科目	臨床心理基礎実習Ⅱ	教育相談・カウンセリングに必要なとされる基礎的技能を修得する。ロールプレイング実習では、既存の事例を参照しながら具体的な状況を設定し、各登場人物に役を割り当ててロールプレイを行う。セラピスト役とクライアント役を置くが、設定された状況に応じて、保護者、友人、担任等の役が付与される。受講者は、セラピストとクライアントという二者関係に加えて、第三者の視点やクライアントではない関係者への配慮など、コンサルテーションの素地をなり得る、より適切な援助の視点ならびにその技能を修得する。	共同
自由科目	臨床心理実習	附属相談施設内においてケースを担当する際に、任意のケースについて定期的にスーパーヴィジョン(臨床的指導)を受け、継続的に自身の担当ケースを振り返るとともに、自身の成長という視点を含め専門家としての姿勢を学ぶ。また、インテーク面接に陪席することで、初回面接のあり方とその重要性を間接的に体験し、専門家としての姿勢を学修する。	共同
自由科目	心理学研究法特論	心理学における研究的視点は、自身が行う研究の方法的基礎だけでなく、研究論文を理解するためのスキルの一つとして必須である。また、心理学における科学的視点は、教育・臨床における自己理解/他者理解の洞察の基礎や関連問題を扱う知見の理解の基礎にもなり、将来、心理士/心理師として責任を示す基礎でもある。本講義では、研究の前提となる基礎的知識・技能を修得することを目指す。	
自由科目	心理統計法特論	統計法は“はかる(図る・測る・計る)”ための技術であり、確率という条件付きの結論を導出する手法の集合である。また、児童・生徒の教育評価や教育指導及び進路指導の他、様々な処置や方法の客観的効果(エビデンス)を見定めるために必要となる科学的道具である。本講義では、心理学領域で頻出する統計法について基礎的な理解を目指す。	
自由科目	認知心理学特論Ⅰ	思考、言語、知覚といった我々の認知能力には様々なものがあるが、それらを可能にしている基盤的能力が記憶である。本講義では、記憶に関する主要な研究(ワーキングメモリ、記憶と意識、記憶と臨床、記憶のモデル等)について概説する。	
自由科目	認知心理学特論Ⅱ	顔は、赤ちゃんですら注意を向けてしまうほどの存在であり、それは他者認知・コミュニケーションにおいて重要な情報を備えているからである。本講義では、顔に関する心理学的研究(認知心理学、発達心理学、相貌心理学)について概説する。	
自由科目	心理療法特論Ⅰ	この講義では、子どもの心理療法を最低限のレベルで実践できるようになることを目標とする。対象者が子どもであるということは、必然的に親役割を果たす大人もセットであり、どのような治療構造で面接を行うかなど成人の面接以上に考えるべきことは多い。ただ、子どもと遊んで楽しいだけではなく、子どもと心を触れ合わせ、その声に耳を傾けたときに何が起るのか、そしてそこに必要な専門性について示していく。	

自由科目	心理療法特論Ⅱ	本講義では、臨床心理学の専門性に基づく代表的な心理療法（精神分析、ユング心理学、ロジャーズの心理学、行動主義心理学）について取り上げ、心理療法を用いた実践事例を検討し、臨床心理面接の適切な実践方法について理解する。また、発達期に応じた心理療法の在り方についてグループワークを交え学習していく。	隔年
自由科目	心理療法特論Ⅲ	本講義では、臨床心理士養成指定大学院において大学院生が取り組む心理療法として最も基本的なものとされている遊戯療法を主に取り上げて、遊戯療法の実践的側面の紹介に止まらず、その治療機序にまで踏み込んで、心理療法としての意義とその活用について考える。レクチャー・スタイルだけでなく、主としてアクティヴ・ラーニング形式を取り入れながら、文献購読スタイルも併用して、受講者同士のディスカッションを積極的に行っていく。	隔年
自由科目	グループ・アプローチ特論	集団精神療法の基本的知識、方法論を学び、グループを体験することを通して、グループの力学を知的、体験的に修得する。ここでいう集団精神療法とは、主として神経症圏の心理療法としての集団精神療法であるが、児童・思春期の集団精神療法の理論、基本的な方法論についても触れる。また、臨床実践の場としてのグループをどうとらえるかの考察にも及ぶ。集団精神療法の体験を通して、心理療法のエッセンスについても考察する。	隔年
自由科目	臨床心理学研究Ⅰ	臨床心理学的な知見を学び、それを学校教育現場における子どもの理解や保護者の理解、クラスなどの集団力動を理解するために活用できるようにすることを目指す講義である。学校現場での実際にあった教育相談事例などを通して、児童生徒の理解力や支援方法、教員へのコンサルテーションの方法について学習していく。	
自由科目	臨床心理学研究Ⅱ	講義にて「応用行動分析学に基づく心理支援の在り方を理解する」ことを目的とする。授業計画としては、児童期、なかでも、知的障害児の心理支援を例としながら、①基本的考え方、②行動目標の作成、③一事例の実験デザイン、④行動の生起頻度を増大させる随伴強化、⑤不適切な行動を減少させる結果操作、⑥分化強化、⑦行動変容の般化について議論する。	
自由科目	知的障害者心理診断法特論	心理教育的アセスメントの意義、目的ならびにその実際を学ぶ。また、ウェクスラー式知能検査（WAIS、WIPPI、WISC）ならびに新版K式発達検査について各種検査の構造の理解解釈法を修得する。さらに、実際の事例を吟味しつつ、医療的支援の可能性を考慮しながら、教育現場に還元可能な個別支援計画立案の方法を修得する。	共同
( 修士論文研究 )	課題研究Ⅰ	(概要) 修士論文作成に当たり、内外の研究状況を踏まえたテーマ選定の適切さ、その社会的意義や実行可能性、倫理的側面の検討ならびにデータ収集の方法と分析手法の妥当性等に関して実践的指導を行い、修士論文作成の指導を行う。 (1 別府 哲) 高機能自閉症児の自我理解を含む、発達臨床心理学の観点から、学校臨床領域における研究課題の研究指導を行う。 (2 伊藤 宗親) 心理アセスメントの手法を用いて、パーソナリティ特性から見た精神病理に関わる課題の研究指導を行う。 (3 坂本 裕) 応用行動分析的アプローチを踏まえた、特に障害児者に対する研究課題の研究指導を行う。 (4 月元 敬) 認知心理学的手法を用いて、教育現場の諸問題をテーマとした研究指導を行う。 (5 松本 拓真) 対象関係論の観点から、おもに子ども（児童生徒）の心理学的問題を扱う課題についての研究指導を行う。 (6 板倉 憲政) 家族支援、地域支援を含めた臨床社会心理学的アプローチから、コミュニケーションに関する問題を含めた課題の研究指導を行う。	
	課題研究Ⅱ	(概要) 修士論文作成に当たり、データに基づく知見の検討ならびに次の段階への研究のあり方に関して実践的指導を行い、修士論文作成の指導を行う。	

<p>( 課 士 論 文  ) 研 究</p>		<p>(1 別府 哲 ) 高機能自閉症児の自他理解を含む、発達臨床心理学の観点から、学校臨床領域における研究課題の研究指導を行う。</p> <p>(2 伊藤 宗親) 心理アセスメントの手法を用いて、パーソナリティ特性から見た精神病理に関わる課題の研究指導を行う。</p> <p>(3 坂本 裕 ) 応用行動分析的アプローチを踏まえた、特に障害児者に対する研究課題の研究指導を行う。</p> <p>(4 月元 敬 ) 認知心理学的手法を用いて、教育現場の諸問題をテーマとした研究指導を行う。</p> <p>(5 松本 拓真) 対象関係論の観点から、おもに子ども(児童生徒)の心理学的問題を扱う課題についての研究指導を行う。</p> <p>(6 板倉 憲政) 家族支援、地域支援を含めた臨床社会心理学的アプローチから、コミュニケーションに関する問題を含めた課題の研究指導を行う。</p>	
<p>( 課 士 論 文  ) 研 究</p>	<p>課題研究Ⅲ</p>	<p>(概要) 修士論文作成に当たり、論文構成の適切さ、論旨の明確さやその社会への公表方法等に関して総合的な指導を行い、修士論文作成の指導を行う。</p> <p>(1 別府 哲 ) 高機能自閉症児の自他理解を含む、発達臨床心理学の観点から、学校臨床領域における研究課題の研究指導を行う。</p> <p>(2 伊藤 宗親) 心理アセスメントの手法を用いて、パーソナリティ特性から見た精神病理に関わる課題の研究指導を行う。</p> <p>(3 坂本 裕 ) 応用行動分析的アプローチを踏まえた、特に障害児者に対する研究課題の研究指導を行う。</p> <p>(4 月元 敬 ) 認知心理学的手法を用いて、教育現場の諸問題をテーマとした研究指導を行う。</p> <p>(5 松本 拓真) 対象関係論の観点から、おもに子ども(児童生徒)の心理学的問題を扱う課題についての研究指導を行う。</p> <p>(6 板倉 憲政) 家族支援、地域支援を含めた臨床社会心理学的アプローチから、コミュニケーションに関する問題を含めた課題の研究指導を行う。</p>	